

# 令和2年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果分析

草加市教育委員会

令和2年度埼玉県学力・学習状況調査は、子どもたちが現在の實力を知り、「どれだけ自分が伸びたか」を実感し、自信を深めていくことを大切にしたいと考え、埼玉県教育委員会が実施しているものです。「学習した内容がしっかりと身に付いているのか」という今までの視点に、「一人ひとりの学力がどれだけ伸びているのか」という視点を加えた、子どもたちの成長していく姿が見える調査となります。

草加市教育委員会では、この調査結果を把握・分析し、成果と課題を検証することによって、教育施策の改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立て、児童生徒一人ひとりの学力向上に取り組んでまいります。

## I 調査の概要

調査目的	児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人ひとりの学力を確実に伸ばす。
調査実施日	令和2年6月18日（木）から7月16日（木）の間で実施可能な日を学校が選択
調査対象	小学校4年生から中学校3年生までの全児童生徒 小学校 21校 5,980人 中学校 11校 5,755人
調査概要	(1) 教科に関する調査 小学校4年生から6年生まで 国語、算数 中学校1年生 国語、数学 中学校2年生及び3年生 国語、数学、英語 (2) 質問紙調査 学習意欲、生活習慣及び規範意識等に関する事項
特徴	学力の経年変化などを継続して把握することのできる調査

○ [草加市の学力調査結果の概要（PDF）](#)

## 同集団における平均正答率の推移

小学校国語							令和2年度 小学校4年生			前年度との比較(伸び)
							草加市	埼玉県	県との差	
							64.8	64.3	0.5	↗
	平成31年度 小学校4年生						令和2年度 小学校5年生			
							草加市	埼玉県	県との差	
							56.5	56.1	0.4	▼
平成30年度 小学校4年生						平成31年度 小学校5年生			令和2年度 小学校6年生	▼
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差		
63.3	62.0	1.3	54.4	52.3	2.1	60.6	58.8	1.8		

中学校国語	平成30年度 小学校5年生			平成31年度 小学校6年生			令和2年度 中学校1年生			前年度との比較(伸び)
	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	
	58.9	58.6	0.3	62.1	62.2	-0.1	61.3	61.1	0.2	○
	平成30年度 小学校6年生			平成31年度 中学校1年生			令和2年度 中学校2年生			▼
	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	
	65.5	64.9	0.6	63.7	63.3	0.4	63.0	63.8	-0.8	
平成30年度 中学校1年生			平成31年度 中学校2年生			令和2年度 中学校3年生			▼	
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差		
53.7	55.2	-1.5	58.4	59.3	-0.9	71.0	72.7	-1.7		

小学校算数							令和2年度 小学校4年生			前年度との比較(伸び)
							草加市	埼玉県	県との差	
							64.3	64.2	0.1	○
	平成31年度 小学校4年生						令和2年度 小学校5年生			
							草加市	埼玉県	県との差	
							70.3	70.2	0.1	○
平成30年度 小学校4年生						平成31年度 小学校5年生			令和2年度 小学校6年生	○
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差		
63.8	62.1	1.7	69.5	68.2	1.3	61.4	59.0	2.4		

中学校数学	平成30年度 小学校5年生			平成31年度 小学校6年生			令和2年度 中学校1年生			前年度との比較(伸び)
	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	
	56.3	56.8	-0.5	60.7	61.5	-0.8	60.0	60.2	-0.2	○
	平成30年度 小学校6年生			平成31年度 中学校1年生			令和2年度 中学校2年生			▼
	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	
	55.4	55.2	0.2	58.8	59.8	-1.0	57.4	58.6	-1.2	
平成30年度 中学校1年生			平成31年度 中学校2年生			令和2年度 中学校3年生			▷	
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差		
56.1	58.1	-2.0	58	59.8	-1.8	55.9	57.7	-1.8		

中学校英語							令和2年度 中学校2年生			前年度との比較(伸び)
							草加市	埼玉県	県との差	
							58.2	57.3	0.9	↗
	平成31年度 中学校2年生						令和2年度 中学校3年生			
							草加市	埼玉県	県との差	
							55.8	56.3	-0.5	▼
						54.9	55.7	-0.8		

○ 向上した      ▼ 低下した      ▷ 変化なし

県の平均正答率以上のもの

## Ⅱ 結果分析・考察

学年・教科		結果の概況	◇成果 ◆課題	結果についての詳細
小学校	国語	4学年	◇全体正答率において、県の全体正答率を上回っている。 ◇「問題形式」の「記述式」において、県との差が最も大きく上回っている。 ◆「読む能力」が課題といえる。	<a href="#">小4 国語 PDF</a>
		5学年	◇全体正答率において、県の全体正答率を上回っている。 ◇「問題形式」の「記述式」において、県との差が最も大きく上回っている。 ◇学力は県平均よりもレベルの伸びが見られる。 ◆「言語についての知識・理解・技能」に課題が見られる。	<a href="#">小5 国語 PDF</a>
		6学年	◇全体正答率において、県の全体正答率を上回っている。 ◇全ての項目において県の平均正答率を上回っている。 ◇「問題形式」の「記述式」において、県との差が最も大きく上回っている。 ◇学力は県平均よりもレベルの伸びが見られる。	<a href="#">小6 国語 PDF</a>
	算数	4学年	◇全体正答率において、県の全体正答率を上回っている。 ◇「問題形式」の「記述式」において、県との差が最も大きく上回っている。 ◆「評価の観点」の「数学的な考え方」において、平均正答率が低く課題となっている。	<a href="#">小4 算数 PDF</a>
		5学年	◇全体正答率において、県の全体正答率を上回っている。 ◇「評価の観点」及び「問題形式」の全ての項目について、県との差が上回っている。 ◇「学力の伸びの状況」において、特に、中位層は県の伸びの状況と比べて大きく伸びている。	<a href="#">小5 算数 PDF</a>
		6学年	◇全体正答率において、県の全体正答率を上回っている。 ◇全ての項目において、県の平均正答率を上回っており、県の平均との差は昨年度よりも向上している。 ◇「問題形式」の「記述式」において、県との差が最も大きく上回っている。 ◇「学力の伸びの状況」において、特に、中位層は県の伸びの状況と比べて大きく伸びている。	<a href="#">小6 算数 PDF</a>

学年・教科		結果の概況	◇成果 ◆課題	結果についての詳細
中 学 校	国 語	1 学 年	◇全体正答率において、県の全体正答率を上回っている。 ◇「問題形式」の「記述式」において、県との差が大きく上回っている。 ◆「言語についての知識・理解・技能」が課題といえる。	<a href="#">中1 国語 PDF</a>
		2 学 年	◇「問題形式」の「記述式」において、県との差が大きく上回っている。 ◆「話す・聞く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」に課題が見られる。 ◆中位層の伸びが課題といえる。	<a href="#">中2 国語 PDF</a>
		3 学 年	◇記述式問題の平均正答率において、県との差が上回っている。 ◆全ての項目で、県の平均正答率を下回っている。 ◆中位層の伸びが課題といえる。	<a href="#">中3 国語 PDF</a>
	数 学	1 学 年	◇「全体正答率」の経年変化において、前年度との「県との差」が向上している。 ◇上位層、中位層、低位層のいずれの層の生徒も学力を伸ばし、特に中央値の生徒の学力の伸びが見られる。 ◆「教科の領域等」の「数と計算」「数量関係」、「評価の観点」の「数学的な考え方」「数量や図形についての技能」、「問題形式」の「短答式」「記述式」において、県の平均正答率を下回っている。	<a href="#">中1 数学 PDF</a>
		2 学 年	◆「全体正答率」の経年変化において、前年度との「県との差」が低下している。 ◆「教科の領域等」、「評価の観点」、「問題形式」の全てにおいて、県の平均正答率を下回っている。 ◆上位層、中位層、低位層のいずれの層の生徒も学力を伸ばしているが、中央値の生徒の学力の伸びが、県の中央値の生徒の学力の伸びの状況と比べ、課題が見られる。	<a href="#">中2 数学 PDF</a>
		3 学 年	◇「教科の領域等」の「数と式」「図形」、「評価の観点」の「数学的な技能」「数量や図形などについての知識・理解」などについては、前年度との「県との差」と比べ、向上が見られる。 ◆「学力レベル」において、県の学力レベルを下回っている。 ◆「教科の領域等」「評価の観点」「問題形式」の全てにおいて、県の平均正答率を下回っている。	<a href="#">中3 数学 PDF</a>
	英 語	2 学 年	◇「教科の領域等」の「書くこと」において、県の平均正答率を上回り、一定の成果が見られる。 ◇「問題形式」の「記述式」において、県の平均正答率より上回り、一定の成果が見られる。 ◆「評価の観点」の「外国語理解の能力」において、県の平均正答率との差が僅かであり、課題となっている。	<a href="#">中2 英語 PDF</a>
		3 学 年	◇「教科の領域」の「読むこと」、「評価の観点」の「外国語表現の能力」において、学力の伸びがあった。 ◆「教科の領域等」の「書くこと」において、県との差の比較が低下し、課題が見られる。 ◆「学力の伸びの状況」において、学力下位層の伸びが県の生徒の伸びに比べ課題がある。	<a href="#">中3 英語 PDF</a>

令和2年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

1 結果概況

「内容別の主な結果」の分析

- ・全体正答率において、県の全体正答率を上回っている。
- ・「問題形式」の「記述式」において、県との差が最も大きく上回っている。
- ・「読む能力」が課題といえる。

- 向上した
- ▷ 変化なし
- ▼ 低下した

2 内容別の主な結果

過去の同学年との成績比較

		平成30年度 小学校4年生			平成31年度 小学校4年生			令和2年度 小学校4年生			経年変化	
		学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			全体正答率	
		草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	前年度の「県との差」の比較	
		6-B	6-C	1	5-A	5-A	0	6-B	6-B	0	0.1	○
		63.3	62.0	1.3	56.5	56.1	0.4	64.8	64.3	0.5		
		平均正答率(%)			平均正答率(%)			平均正答率(%)			県との差の比較	
		草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	経年変化	
教科の領域等	話すこと・聞くこと・書くこと	55.8	52.7	3.1	38.8	38.0	0.8	43.3	42.1	1.2	0.4	○
	読むこと	65.2	62.8	2.4	62.8	61.5	1.3	56.1	56.4	-0.3	-1.6	▼
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	65.6	65.3	0.3	60.3	60.2	0.1	73.2	72.7	0.5	0.4	○
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	話す・聞く能力	56.9	53.3	3.6	36.8	35.1	1.7	36.3	34.9	1.4	-0.3	▼
	書く能力	55.3	52.4	2.9	40.2	39.9	0.3	47.9	47.0	0.9	0.6	○
	読む能力	65.2	62.8	2.4	62.8	61.5	1.3	56.1	56.4	-0.3	-1.6	▼
	言語についての知識・理解・技能	65.6	65.3	0.3	60.3	60.2	0.1	73.2	72.7	0.5	0.4	○
問題形式	選択式	60.9	59.9	1.0	53.8	53.7	0.1	66.9	66.6	0.3	0.2	○
	短答式	67.2	66.1	1.1	60.6	60.3	0.3	65.3	64.9	0.4	0.1	○
	記述式	34.9	27.7	7.2	22.4	18.4	4.0	34.9	31.3	3.6	-0.4	▼

・指導が必要な項目

【言語についての知識・理解・技能】 選択式 平均正答率 草加市 43.0 埼玉県 45.7 差 -2.7 無解答率 2.4

問題の概要 文中の主語・述語を選択する

出題の趣旨 文の構成を理解する

【読む】 短答式 平均正答率 草加市62.4 埼玉県 63.7 差 -1.3 無解答率 10.4

問題の概要 物語に書かれている出来事を読み取り、登場人物の発言の対象を示す言葉を書き抜く

出題の趣旨 物語に書かれている出来事を読み取る

【書く能力】 記述式 平均正答率 草加市 34.9 埼玉県 31.3 差 3.6 無解答率 16.7

問題の概要 選んだものと、その理由を二段落構成で書く

出題の趣旨 条件に沿って自分の考えを決め、その理由を書く

「言語についての知識・理解・技能」に関する指導について

分析

- ・主語と述語を適切に対応させることの必要性を理解できていない。

指導のポイント

- ・日常的に書き言葉としての文章や話し言葉としての話の中に含まれる文について、主語と述語との関係に気付かせる。

「読む能力」に関する指導について

分析

- ・場面の様子や登場人物の行動などを基に、内容の大体を捉えることができていない。

指導のポイント

- ・低学年のうちから、本の作品の題名や場面の様子を描いた挿絵なども手掛かりに、誰が、どうして、どうなったかを把握させる。

「書く能力」に関する指導について

分析

- ・自分の考えとそれを支える理由や事例といった関係を明確にして書き表すことが苦手な児童が多い。

指導のポイント

- ・理由を挙げながら自分の考えを表現する活動を意図的に取り入れる。

# 令和2年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

## 1 結果概況

### 「内容別の主な結果」の分析

- ・「言語についての知識・理解・技能」に課題が見られる。
- ・「問題形式」の「記述式」において、県との差が最も大きく上回っている。

### 「今までの学力変化」の分析

- ・学力は県平均よりもレベルの伸びが見られる。

### 「学力の伸びの状況」の分析

- ・上位層、中位層、下位層、どの層も同じような伸びが見られる。

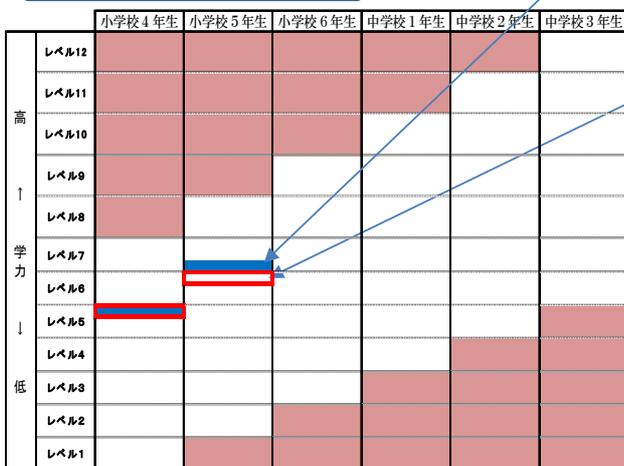
- 向上した
- ▷ 変化なし
- ▼ 低下した

## 2 内容別の主な結果

**同一集団の  
成績推移**

平成31年度 小学校4年生			令和2年度 小学校5年生			経年変化	
学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			全体正答率	
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	前年度の「県との差」の比較	
5-A	5-A	0	7-C	6-A	1	-0.1	▼
56.5	56.1	0.4	62.4	62.1	0.3		
平均正答率(%)			平均正答率(%)			県との差の比較	
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	経年変化	
38.8	38.0	0.8	48.9	45.7	3.2	2.4	○
62.8	61.5	1.3	63.0	62.9	0.1	-1.2	▼
60.3	60.2	0.1	65.2	65.5	-0.3	-0.4	▼
-	-	-	-	-	-	-	-
36.8	35.1	1.7	50.3	48.1	2.2	0.5	○
40.2	39.9	0.3	47.5	43.2	4.3	4.0	○
62.8	61.5	1.3	63.0	62.9	0.1	-1.2	▼
60.3	60.2	0.1	65.2	65.5	-0.3	-0.4	▼
53.8	53.7	0.1	65.7	65.6	0.1	0.0	▷
60.6	60.3	0.3	60.8	60.8	0.0	-0.3	▼
22.4	18.4	4.0	30.3	22.1	8.2	4.2	○

## 3 今までの学力の変化



草加市 埼玉県

**【グラフの見方】**

- ・ 基本的な見方は、児童生徒の個人結果票と同様です。
- ・ — は、貴実施主体の当該学年の学力のレベルの平均を表しています。
- ・ — は、当該学年の学力のレベルの県平均を表しています。

**【活用の仕方(例)】**

- ① 平成30年度から31年度の「学力の伸び」に着目する。  
⇒ 伸び幅が県平均よりも大きい／小さい。
- ② 平成31年度の学年ごとの学力に着目する。  
⇒ 学力が県平均を上回っている／下回っている。

※ ①、②のような視点を踏まえ、さらに他の帳票を合わせ見ることで、課題となる領域や指導改善の方法などを検討する。



# 令和2年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

## 1 結果概況

### 「内容別の主な結果」の分析

- ・全ての項目において県の平均正答率を上回っている。
- ・「問題形式」の「記述式」において、県との差が最も大きく上回っている。

### 「今までの学力変化」の分析

- ・学力は県平均よりもレベルの伸びが見られる。

### 「学力の伸びの状況」の分析

- ・中位層の児童が学力を伸ばしている。

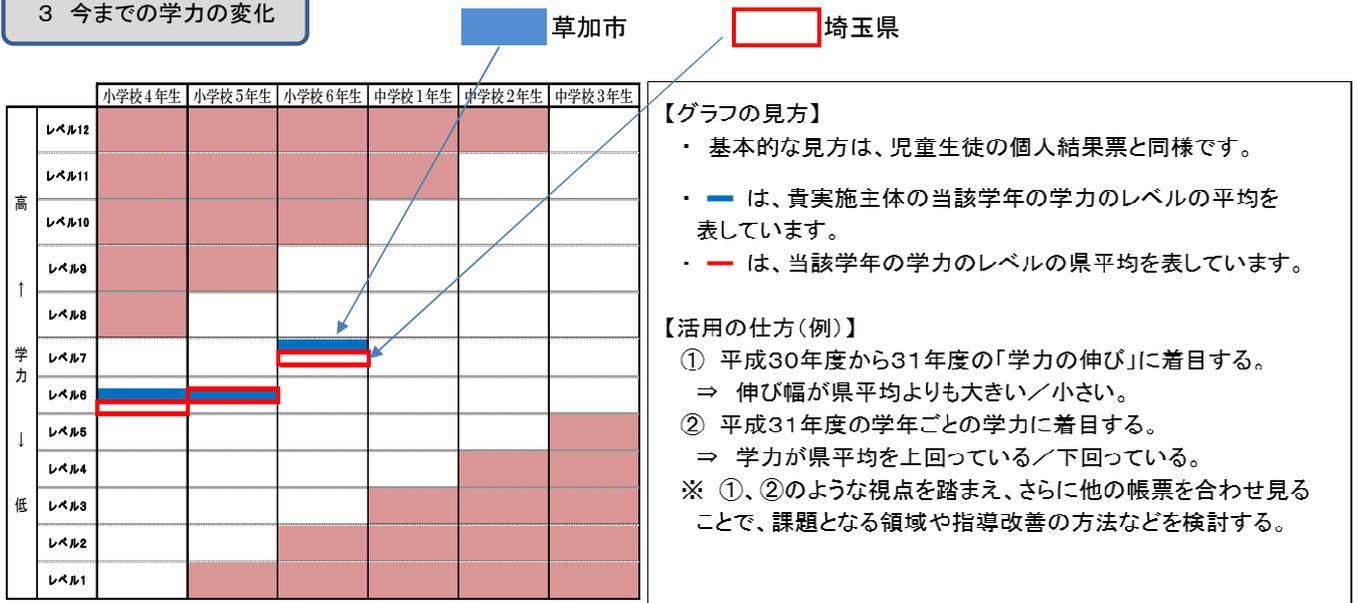
- 向上した
- ▷ 変化なし
- ▼ 低下した

## 2 内容別の主な結果

### 同一集団の成績推移

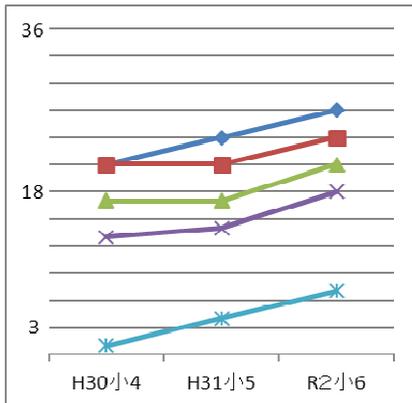
		平成30年度 小学校4年生			平成31年度 小学校5年生			令和2年度 小学校6年生			経年変化	
		学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			全体正答率	
		草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	前年度の「県との差」の比較	
		6-B	6-C	1	6-B	6-B	0	7-A	7-B	1		
		63.3	62.0	0.3	54.4	52.3	2.1	60.6	58.8	1.8	-0.3	▼
		平均正答率(%)			平均正答率(%)			平均正答率(%)			県との差の比較	
		草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	経年変化	
教科の領域等	話すこと・聞くこと・書くこと	55.8	52.7	3.1	42.8	37.0	5.8	68.6	62.3	6.3	0.5	○
	読むこと	65.2	62.8	2.4	52.9	49.8	3.1	65.4	63.8	1.6	-1.5	▼
	伝統的な言語文化と国語の特質に する事	65.6	65.3	0.3	57.9	57.2	0.7	56.1	55.3	0.8	0.1	○
評価の観点	国語への 心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	話す・聞く能力	56.9	53.3	3.6	56.5	50.4	6.1	72.2	69.5	2.7	-3.4	▼
	書く能力	55.3	52.4	2.9	29.0	23.7	5.3	65.1	55.0	10.1	4.8	○
	読む能力	65.2	62.8	2.4	52.9	49.8	3.1	65.4	63.8	1.6	-1.5	▼
	言語についての知識・理解・技能	65.6	65.3	0.3	57.9	57.2	0.7	56.1	55.3	0.8	0.1	○
問題形式	択式	60.9	59.9	1.0	49.8	47.2	2.6	58.3	57.3	1.0	-1.6	▼
	短答式	67.2	66.1	1.1	59.7	58.2	1.5	65.0	63.3	1.7	0.2	○
	記述式	34.9	27.7	7.2	19.0	12.1	6.9	59.6	41.0	18.6	11.7	○

## 3 今までの学力の変化

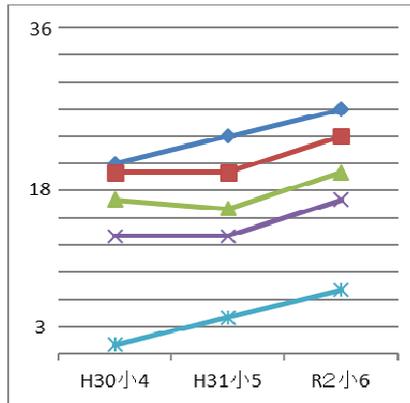


## 4 学力の伸びの状況

### 草加市



### 埼玉県



- ◆ → 最大値 最も学力が高い児童生徒が属する学力レベル
- → 値 学力の い に並べたときに、上から数えて に当たる児童生徒が属する学力レベル
- ▲ → 中央値 学力の い に並べたときに、上から数えて に当たる児童生徒が属する学力レベル
- × → 値 学力の い に並べたときに、上から数えて に当たる児童生徒が属する学力レベル
- 最小値 最も学力が低い児童生徒が属する学力レベル

#### ・指導が必要な項目

【言語についての知識・理解・技能】 短答式 平均正答率 草加市24.0 埼玉県 25.2 差 -1.2 無解答率 2.5

問題の概要 文中の主語を書き抜く

出題の趣旨 文の構成を理解する

【言語についての知識・理解・技能】 選択式 平均正答率 草加市7.8 埼玉県 7.1 差 0.7 無解答率 0.2

問題の概要 同音異義語の中から文脈に合うものを選択する

出題の趣旨 文脈に即して漢字を正しく使う

#### 「言語についての知識・理解・技能」に関する指導について

##### 分析

- ・主語と述語を適切に対応させることの必要性を理解できていない。
- ・ことわざや慣用句などの言葉の意味を理解できていない。

##### 指導のポイント

- ・日常的に書き言葉としての文章や話し言葉としての話の中に含まれる文について、主語と述語との関係に気付かせる。
- ・ことわざや慣用句について言葉の意味を調べることを習慣的に行えるようにするとともに、日常生活でも使うようにさせる。

## 令和2年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

### 1 結果概況

#### 「内容別の主な結果」の分析

- ・「言語についての知識・理解・技能」に課題が見られる。
- ・「問題形式」の「記述式」において、県との差が大きく上回っている。

#### 「今までの学力変化」の分析

- ・学力は県平均と同等のレベルで伸びを見せている。

#### 「学力の伸びの状況」の分析

- ・上位層、中位層、下位層のいずれの層の児童も学力を伸ばしている。

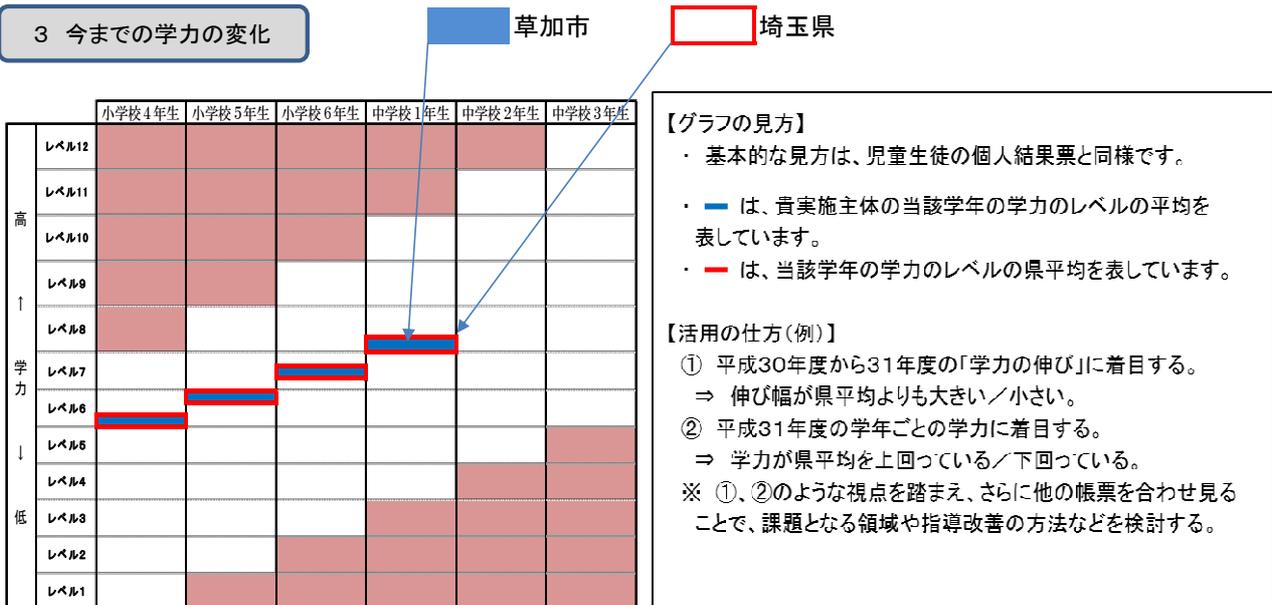
- 向上した
- ▷ 変化なし
- ▼ 低下した

### 2 内容別の主な結果

## 同一集団の 成績推移

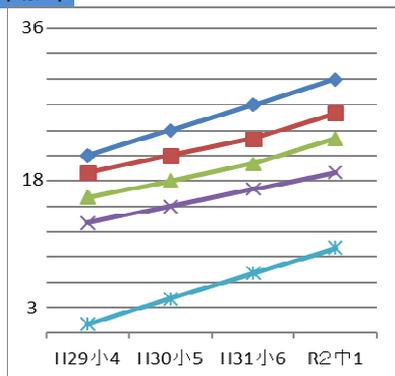
平成30年度 小学校5年生			平成31年度 小学校6年生			令和2年度 中学校1年生			経年変化			
学力レベル			学力レベル			学力レベル			全体正答率			
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	前年度の「県との差」の比較			
6-A	6-A	0	7-B	7-B	0	8-C	8-C	0				
58.9	58.6	0.3	62.1	62.2	-0.1	61.3	61.1	0.2	0.3	○		
平均正答率(%)			平均正答率(%)			平均正答率(%)			県との差の比較			
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	経年変化			
44.0	39.8	4.2	51.2	48.4	2.8	68.4	63.7	4.7	1.9	○		
53.8	53.2	0.6	65.7	65.8	-0.1	66.0	65.0	1.0	1.1	○		
65.0	66.0	-1.0	62.7	63.5	-0.8	57.2	58.3	-1.1	-0.3	▼		
<b>評価の観点</b>												
国語への関心・意欲・態度		-	-	-	-	-	-	-	-	-		
話す・聞く能力		56.2	52.8	3.4	58.4	58.3	0.1	69.2	67.8	1.4	1.3	○
書く能力		31.8	26.9	4.9	44.1	38.6	5.5	67.7	59.7	8.0	2.5	○
読む能力		53.8	53.2	0.6	65.7	65.8	-0.1	66.0	65.0	1.0	1.1	○
言語についての知識・理解・技能		65.0	66.0	-1.0	62.7	63.5	-0.8	57.2	58.3	-1.1	-0.3	▼
<b>問題形式</b>												
選択式		61.5	61.6	-0.1	61.9	62.2	-0.3	64.3	64.2	0.1	0.4	○
短答式		58.3	58.2	0.1	64.4	65.3	-0.9	55.2	56.3	-1.1	-0.2	▼
記述式		28.3	21.6	6.7	37.9	27.4	10.5	66.1	49.6	16.5	6.0	○

### 3 今までの学力の変化

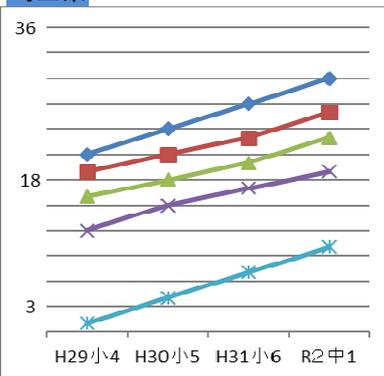


#### 4 学力の伸びの状況

##### 草加市



##### 埼玉県



- ◆ → 最大値 最も学力が高い児童生徒が属する学力レベル
- → 値 学力の い に並べたときに、上から数えて に当たる児童生徒が属する学力レベル
- ▲ → 中央値 学力の い に並べたときに、上から数えて に当たる児童生徒が属する学力レベル
- × → 値 学力の い に並べたときに、上から数えて に当たる児童生徒が属する学力レベル
- 最小値 最も学力が低い児童生徒が属する学力レベル

#### ・指導が必要な項目

【言語についての知識・理解・技能】短答式 平均正答率 草加市 29.9 埼玉県 37.3 差 -7.4 無解答率 5.1

問 の概要 述語に対する主語を文中から書き抜く

出 の趣旨 文の構成を理解する

【言語についての知識・理解・技能】短答式 平均正答率 草加市 10.9 埼玉県 11.2 差 -0.3 無解答率 0.8

問 の概要 文中にあてはまる 適切な対義語を 択する

出 の趣旨 対義語を理解する

#### 「言語についての知識・理解・技能」に関する指導について

##### 分析

- ・主語と述語を適切に対応させることの必要性を理解できていない。
- ・語句と語句の関係について理解できていない。

##### 指導のポイント

- ・日常的に書き言葉としての文章や話し言葉としての話の中に含まれる文について、主語と述語との関係に気付かせる。
- ・話や文章の中で使うことを通して語彙を豊かにさせる。

# 令和2年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

## 1 結果概況

### 「内容別の主な結果」の分析

- ・「話す・聞く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」に課題が見られる。
- ・「問題形式」の「記述式」において、県との差が大きく上回っている。

### 「今までの学力変化」の分析

- ・学力は県平均と同等のレベルで伸びを見せている。

### 「学力の伸びの状況」の分析

- ・中位層の伸びが課題といえる。

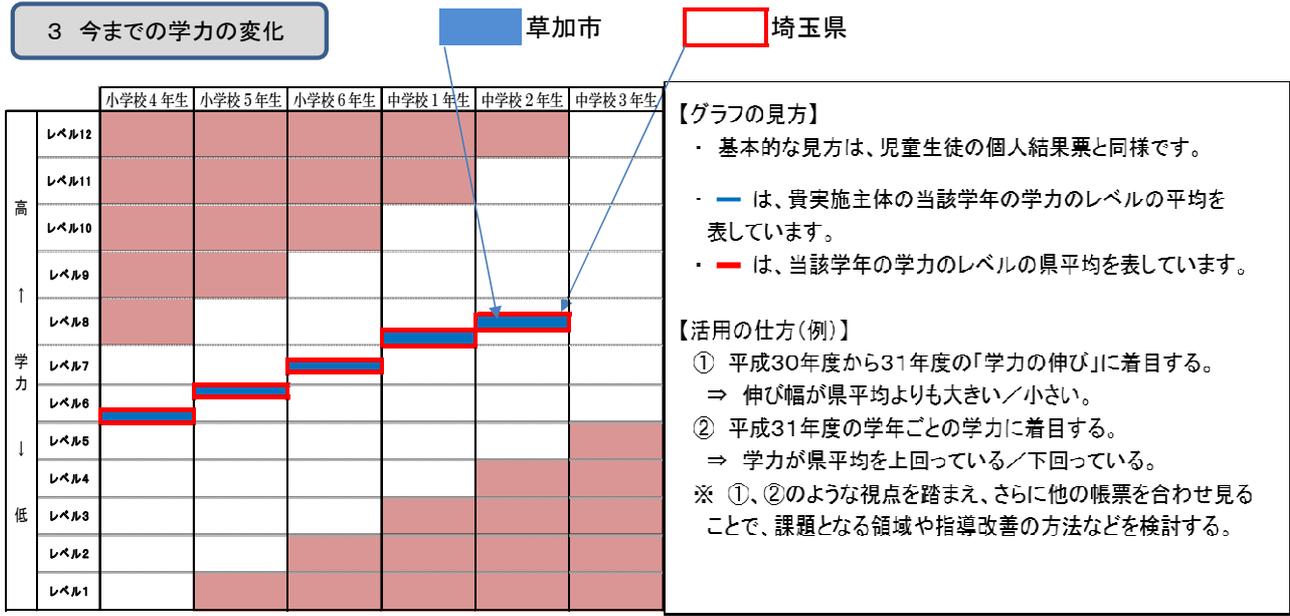
- 向上した
- △ 変化なし
- ▼ 低下した

## 2 内容別の主な結果

**同一集団の  
成績推移**

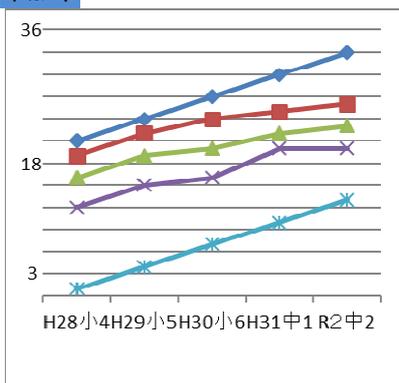
平成30年度 小学校6年生			平成31年度 中学校1年生			令和2年度 中学校2年生			経年変化		
学力レベル			学力レベル			学力レベル			全体正答率		
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	前年度の「県との差」の比較		
7-B	7-B	0	8-C	8-C	0	8-B	8-B	0	-1.2	▼	
65.5	64.9	0.6	63.7	63.3	0.4	63.0	63.8	-0.8	-1.2	▼	
平均正答率(%)			平均正答率(%)			平均正答率(%)			県との差の比較		
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	経年変化		
話すこと・聞くこと・書くこと	65.9	62.8	3.1	53.8	51.7	2.1	59.0	59.0	0.0	-2.1	▼
読むこと	67.4	66.8	0.6	57.3	57.1	0.2	57.8	59.0	-1.2	-1.4	▼
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	64.4	64.4	0.0	69.4	69.2	0.2	66.6	67.5	-0.9	-1.1	▼
国語への関心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
話す・聞く能力	78.3	76.6	1.7	45.6	45.4	0.2	64.5	66.2	-1.7	-1.9	▼
書く能力	53.6	49.0	4.6	62.0	58.0	4.0	53.5	51.9	1.6	-2.4	▼
読む能力	67.4	66.8	0.6	57.3	57.1	0.2	57.8	59.0	-1.2	-1.4	▼
言語についての知識・理解・技能	64.4	64.4	0.0	69.4	69.2	0.2	66.6	67.5	-0.9	-1.1	▼
選択式	64.4	63.9	0.5	66.1	66.3	-0.2	65.7	66.6	-0.9	-0.7	▼
短答式	68.7	69.1	-0.4	61.1	60.1	1.0	58.8	60.0	-1.2	-2.2	▼
記述式	60.1	48.7	11.4	38.0	31.4	6.6	53.2	48.9	4.3	-2.3	▼

## 3 今までの学力の変化

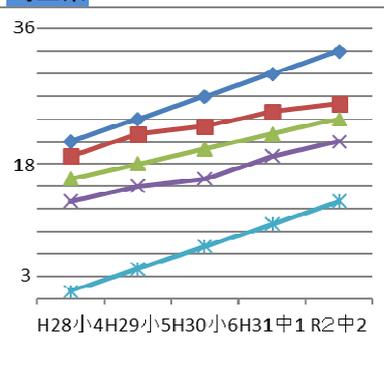


#### 4 学力の伸びの状況

##### 草加市



##### 埼玉県



◆ → 最大値 最も学力が高い児童生徒が属する学力レベル  
 ■ → 値 学力の い に並べたときに、上から数えて に当たる児童生徒が属する学力レベル  
 ▲ → 中央値 学力の い に並べたときに、上から数えて に当たる児童生徒が属する学力レベル  
 × → 値 学力の い に並べたときに、上から数えて に当たる児童生徒が属する学力レベル  
 → 最小値 最も学力が低い児童生徒が属する学力レベル

#### ・指導が必要な項目

【言語についての知識・理解・技能】 短答式 平均正答率 草加市 8.1 埼玉県 8.4 差 -0.3 無解答率 8.4

問 の概要 一文の中から体言をすべて書き抜く

出 の趣旨 体言・用言を理解する

【言語についての知識・理解・技能】 択式 平均正答率 草加市 33.1 埼玉県 33.3 差 -0.2 無解答率 0.2

問 の概要 主語・述語の 係として 切なものを 択する

出 の趣旨 主語・述語の 係を理解する

【読む能力】 短答式 平均正答率 草加市 39.9 埼玉県 41.4 差 -1.5 無解答率 6.2

問 の概要 本文に書かれた事象を説明する 分を本文中から書き抜く

出 の趣旨 文章の中心的 分に対する付加的な説明 分を読み分け、内容を理解する

【話す・聞く能力】 択式 平均正答率 草加市 63.9 埼玉県 66.2 差 -2.3 無解答率 1.3

問 の概要 発表の仕方を説明したものとして、最も 切なものを 択する

出 の趣旨 聞き手の立場に立って、分かりやすく話す工夫をする

#### 「言語についての知識・理解・技能」に関する指導について

##### 分析

- ・単語の種別について理解できていない。
- ・主語と述語を適切に対応させることの必要性を理解できていない。

##### 指導のポイント

- ・日常的に文を書く際に、文節の中で中心となる単語や、それだけで述語になる単語について意識させる。
- ・日常的に書き言葉としての文章や話し言葉としての話の中に含まれる文について、主語と述語との関係に気付かせる。

#### 「読む能力」に関する指導について

##### 分析

- ・文章の中心的な部分と付加的な部分について読み分け、内容を理解できていない。

##### 指導のポイント

- ・文章を読む際は、叙述を基にその構造を適切に捉えさせるとともに要旨も把握させる。

#### 「話す・聞く能力」に関する指導について

##### 分析

- ・自分の考えがわかりやすく伝わるように表現の工夫について理解できていない。

##### 指導のポイント

- ・集めた材料や具体的な事実、自分の感じたことや考えたことなどをどのように配列するか考えさせたり、接続する語句や文末表現などに注意したりさせ、自分の考えや根拠が明確になるように話を構成させる。

# 令和2年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

## 1 結果概況

### 「内容別の主な結果」の分析

- ・ 全ての項目で、県の平均正答率を下回っている。
- ・ 「問題形式」の「記述式」において、県との差が上回っている。

### 「今までの学力変化」の分析

- ・ 学力は県平均と同等のレベルで伸びを見せている。

### 「学力の伸びの状況」の分析

- ・ 中位層の伸びが課題といえる。

- 向上した
- △ 変化なし
- ▼ 低下した

## 2 内容別の主な結果

**同一集団の  
成績推移**

平成30年度 中学校1年生			平成31年度 中学校2年生			令和2年度 中学校3年生			経年変化		
学力レベル			学力レベル			学力レベル			全体正答率		
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	前年度の「県との差」の比較		
7-A	8-C	1	8-B	8-B	0	9-C	9-C	0	-0.8	▼	
53.7	55.2	-1.5	58.4	59.3	-0.9	71.0	72.7	-1.7			
平均正答率(%)			平均正答率(%)			平均正答率(%)			県との差の比較		
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	経年変化		
話すこと・聞くこと・書くこと	69.5	69.6	-0.1	53.2	53.9	-0.7	66.4	68.0	-1.6	-0.9	▼
読むこと	48.8	49.8	-1.0	50.6	51.3	-0.7	79.1	80.9	-1.8	-1.1	▼
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	52.6	54.8	-2.2	63.7	64.8	-1.1	67.8	69.4	-1.6	-0.5	▼
国語への関心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
話す・聞く能力	71.6	75.0	-3.4	58.5	61.0	-2.5	70.2	73.0	-2.8	-0.3	▼
書く能力	67.5	64.1	3.4	47.9	46.8	1.1	62.7	63.1	-0.4	-1.5	▼
読む能力	48.8	49.8	-1.0	50.6	51.3	-0.7	79.1	80.9	-1.8	-1.1	▼
言語についての知識・理解・技能	52.6	54.8	-2.2	63.7	64.8	-1.1	67.8	69.4	-1.6	-0.5	▼
選択式	53.4	54.8	-1.4	60.3	61.4	-1.1	73.0	74.7	-1.7	-0.6	▼
短答式	53.9	56.9	-3.0	56.0	57.0	-1.0	69.2	70.9	-1.7	-0.7	▼
記述式	59.6	53.0	6.6	41.7	39.0	2.7	58.7	58.4	0.3	-2.4	▼

## 3 今までの学力の変化



**【グラフの見方】**

- ・ 基本的な見方は、児童生徒の個人結果票と同様です。
- ・ — は、貴実施主体の当該学年の学力のレベルの平均を表しています。
- ・ — は、当該学年の学力のレベルの県平均を表しています。

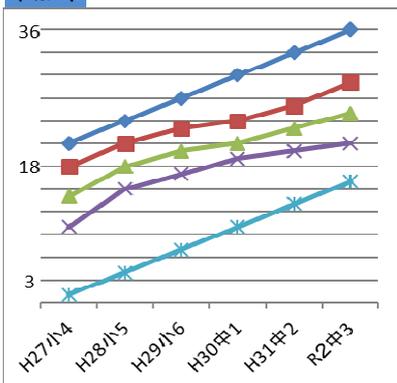
**【活用の仕方(例)】**

- ① 平成30年度から31年度の「学力の伸び」に着目する。  
⇒ 伸び幅が県平均よりも大きい／小さい。
- ② 平成31年度の学年ごとの学力に着目する。  
⇒ 学力が県平均を上回っている／下回っている。

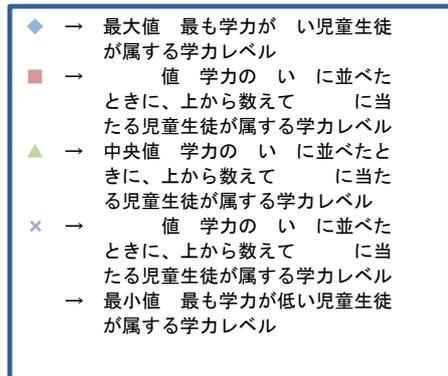
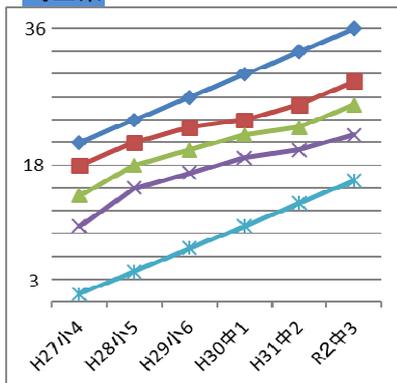
※ ①、②のような視点を踏まえ、さらに他の帳票を合わせることによって、課題となる領域や指導改善の方法などを検討する。

#### 4 学力の伸びの状況

##### 草加市



##### 埼玉県



#### ・指導が必要な項目

【言語についての知識・理解・技能】 択式 平均正答率 草加市 32.8 埼玉県 34.3 差 -1.5 無解答率 0.9

問 の概要 二字熟語の構成が異なる熟語を 択する

出 の趣旨 熟語の構成を理解する

【言語についての知識・理解・技能】 短答式 平均正答率 草加市 36.7 埼玉県 45.0 差 -8.3 無解答率 13.2

問 の概要 漢文の訓読文を書き下し文にする

出 の趣旨 訓点の決まりを理解する

【読む能力】 短答式 平均正答率 草加市 64.6 埼玉県 66.8 差 -2.2 無解答率 4.4

問 の概要 登場人物の考えをまとめて書く

出 の趣旨 登場人物の考えを読み取る

【話す・聞く能力】 択式 平均正答率 草加市 62.7 埼玉県 66.0 差 -3.3 無解答率 1.0

問 の概要 スピーチの工夫として、 切でないものを 択する

出 の趣旨 聞き手の立場に立って、わかりやすく話す工夫をする

#### 「言語についての知識・理解・技能」に関する指導について

##### 分析

- ・熟語について理解ができていない。
- ・古典に親しむことができていない。

##### 指導のポイント

- ・話や文章の中でどのように使用されているか、自分が理解したり表現したりするときどのように用いればよいかについて思考させる。
- ・歴史的状況を踏まえたうえで作品を読ませたり、古典の一節を話や文章に取り入れさせたりする。

#### 「読む能力」に関する指導について

##### 分析

- ・登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈することができていない。

##### 指導のポイント

- ・描かれていない言動の意味や心情についても想像を働かせながら読ませるようにする。

#### 「話す・聞く能力」に関する指導について

##### 分析

- ・聞き手の立場に立つことができていない。

##### 指導のポイント

- ・自分の考えを伝える場を意図的に設定するとともに、資料や機器を用いて表現させる。

## 令和2年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

## 1 結果概況

## 「内容別の主な結果」の分析

- ・「教科の領域等」の「数量関係」においては、県の平均正答率を上回っており、一定の成果が見られる。  
「図形」においては、県の平均正答率を上回ったものの、平均正答率が50%であり課題となっている。
- ・「評価の観点」の「数学的な考え方」においては、平均正答率が50.1%であり、課題となっている。
- ・「問題形式」の「記述式」について、県の平均正答率を上回っている。

○ 向上した

▷ 変化なし

▼ 低下した

## 2 内容別の主な結果

## 過去の同学年との成績比較

		平成30年度			平成31年度			令和2年度			経年変化	
		学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			全体正答率	
		草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	前年度の「県との差」の比較	
		5-A	5-B	1	5-B	5-B	0	5-B	5-B		0.0	▷
		63.8	62.1	1.7	70.3	70.2	0.1	64.3	64.2	0.1		
		平均正答率(%)			平均正答率(%)			平均正答率(%)			県との差の比較	
		草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	経年変化	
教科の領域等	数と計算	70.8	69.6	1.2	72.1	71.7	0.4	68.1	68.4	-0.3	-0.7	▼
	量と測定	55.4	53.7	1.7	61.8	62.2	-0.4	76.7	76.7	0.0	0.4	○
	図形	51.7	49.6	2.1	69.1	68.4	0.7	50.2	50.0	0.2	-0.5	▼
	数量関係	70.1	68.2	1.9	76.3	77.2	-0.9	58.3	57.4	0.9	1.8	○
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	数学的な考え方	44.6	42.4	2.2	62.3	61.8	0.5	50.1	50.3	-0.2	-0.7	▼
	数量や図形についての技能	73.2	72.1	1.1	68.7	68.8	-0.1	70.0	69.5	0.5	0.6	○
	数量や図形についての知識・理解	66.2	64.5	1.7	74.8	74.7	0.1	65.9	66.2	-0.3	-0.4	▼
問題形式	選択式	68.5	67.3	1.2	76.8	77.3	-0.5	65.1	64.8	0.3	0.8	○
	短答式	63.6	61.7	1.9	66.5	66.1	0.4	64.2	64.2	0.0	-0.4	▼
	記述式	19.7	18.7	1.0	45.5	44.4	1.1	54.5	53.5	1.0	-0.1	▼

## ・ 指導が必要な項目

【数学的な考え方】 短答式 平均正答率 草加市 27.7 埼玉県 28.0 差 -0.3 無解答率 8.0

問題の概要 テープを折ったときの長さを、分数を使って表す

出題の趣旨 等分してできる分数の大きさを考えることができる

【数学的な考え方】 選択式 平均正答率 草加市 40.5 埼玉県 42.6 差 -2.1 無解答率 5.0

問題の概要 折り紙を半分に折ったり、切り取ったりして作られる三角形の名前として適切なものを選ぶ

出題の趣旨 折り紙を折ったり、切り取ったりして作られる三角形の特徴について考えることができる

## 「数学的な考え方」に関する指導について

## 分析

- ・ テープを折ったときの長さを、分数を使って表す問題において、平均正答率が27.7%と低く、県の平均正答率を下回っている。分数を整数や小数と同じように数として捉えることに課題があるといえる。
- ・ 折り紙を半分に折ったり、切り取ったりして作られる三角形の名前として適切なものを選ぶ問題において、県の平均正答率との差が大きい。図形を構成する要素に着目しながら切り取った形を想像することに課題があるといえる。

## 指導のポイント

- ・ 分数の指導においては、2年生において様々な具体物を扱う活動を通して、分数の意味を実感させ、分数を数として捉える素地を養うことが重要である。3年生では、テープ図や数直線と対応させて説明する活動を十分行い、元の大きさや単位分数の大きさに着目しながら分数を数として捉えることができるようにする。
- ・ 正三角形・二等辺三角形の学習では、かいたり作ったりした図形を分類する活動を通して、図形の性質を基にしたり、構成要素に着目したりして説明できるようにすることが大切である。

# 令和2年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

## 1 結果概況

### 「内容別の主な結果」の分析

- ・「教科の領域等」の「数と計算」、「量と測定」「図形」について、県の平均正答率を上回っており、一定の成果が見られる。
- ・「評価の観点」及び「問題形式」の全ての項目について、県の平均正答率を上回っており、一定の成果が見られる。

### 「今までの学力変化」の分析

- ・学力レベル、学力の伸び幅について、どちらも県と同等である。

### 「学力の伸びの状況」の分析

- ・上位層、中位層、低位層のいずれの層の児童も学力を伸ばしている。特に、中位層は県の伸びの状況と比べて大きく伸びている。

- 向上した
- △ 変化なし
- ▼ 低下した

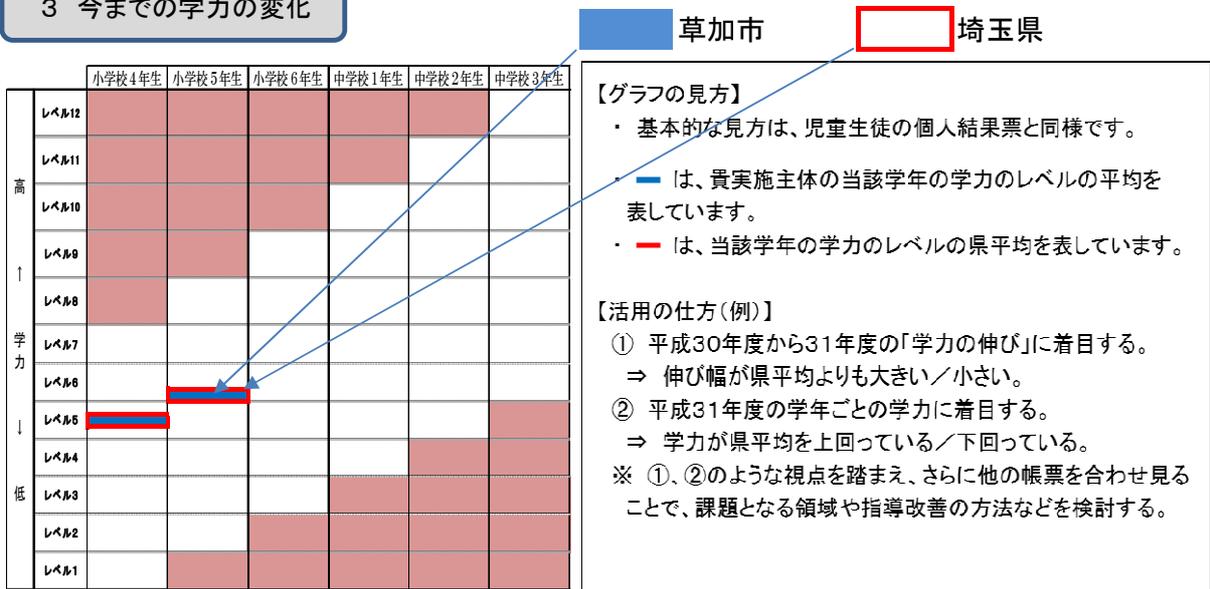
## 2 内容別の主な結果

**同一集団の  
成績推移**

平成31年度 小学校4年生			令和2年度 小学校5年生			経年変化	
学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			全体正答率	
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	前年度の「県との差」の比較	
5-B	5-B	0	6-C	6-C	0	0.3	○
70.3	70.2	0.1	62.1	61.7	0.4	0.3	○
平均正答率(%)			平均正答率(%)			県との差の比較	
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	経年変化	

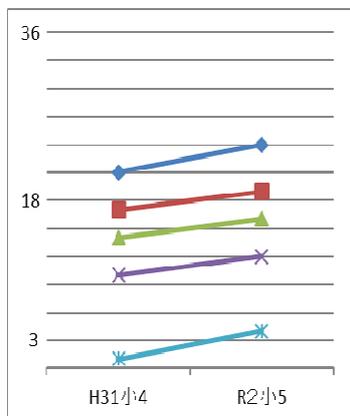
教科の領域等	数と計算		量と測定		図形		数量関係			
	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	経年変化			
	72.1	71.7	0.4	60.1	60.0	0.1	-0.3	▼		
	61.8	62.2	-0.4	60.7	59.5	1.2	1.6	○		
	69.1	68.4	0.7	66.1	65.0	1.1	0.4	○		
	76.3	77.2	-0.9	63.6	63.9	-0.3	0.6	○		
評価の観点	算数への関心・意欲・態度		-	-	-	-	-	-	-	
	数学的な考え方		62.3	61.8	0.5	55.7	55.6	0.1	-0.4	▼
	数量や図形についての技能		68.7	68.8	-0.1	62.9	62.3	0.6	0.7	○
	数量や図形についての知識・理解		74.8	74.7	0.1	68.9	68.4	0.5	0.4	○
問題形式	選択式		76.8	77.3	-0.5	63.8	63.4	0.4	0.9	○
	短答式		66.5	66.1	0.4	62.5	62.2	0.3	-0.1	▼
	記述式		45.5	44.4	1.1	30.9	28.1	2.8	1.7	○

## 3 今までの学力の変化

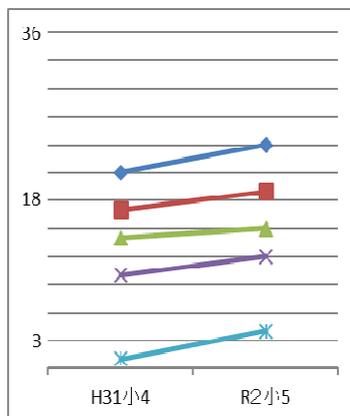


## 4 学力の伸びの状況

### 草加市



### 埼玉県



- ◆ → 最大値 最も学力が高い児童生徒が属する学力レベル
- → 値 学力の に並べたときに、上から数えて に当たる児童生徒が属する学力レベル
- ▲ → 中央値 学力の に並べたときに、上から数えて に当たる児童生徒が属する学力レベル
- × → 値 学力の に並べたときに、上から数えて に当たる児童生徒が属する学力レベル
- 最小値 最も学力が低い児童生徒が属する学力レベル

#### ・指導が必要な項目

【数量や図形についての知識・理解】 短答式 平均正答率 草加市 39.3 埼玉県 39.6 差 -0.2 無解答率 5.7

問題の概要 数直線から読み取った数を仮分数に表す

出題の趣旨 仮分数の読み方や意味について理解している

【数学的な考え方】 選択式 平均正答率 草加市 42.4 埼玉県 43.8 差 -1.4 無解答率 1.3

問題の概要 身の回りにあるものの面積を選ぶ

出題の趣旨 身の回りにあるものの面積の大きさについて見通しをもって考えることができる

#### 「数量や図形についての知識・理解」に関する指導について

##### 分析

- ・ 数直線から読み取った数を仮分数に表す問題において、平均正答率が低い。

##### 指導のポイント

- ・ 真分数、仮分数、帯分数の意味と用語について指導する際は、2年生・3年生で学習したことを基に、図や数直線と対応させながら、単位分数の大きさやその個数に着目して分数を説明させる活動を充実する。

#### 「数学的な考え方」に関する指導について

##### 分析

- ・ 身の回りにあるものの面積を選ぶことについて、平均正答率が42.4%と低く、県の平均正答率を下回っている。

##### 指導のポイント

- ・ 面積の意味が理解できていれば、辺の長さに着目して身の回りにあるものの面積の大きさについて見通しをもつことができる。正方形、長方形の面積の求め方の学習において、面積の大きさについての感覚が培えるよう、活用の場面で身近なものの面積を測定する経験を充実させる。

# 令和2年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

## 1 結果概況

### 「内容別の主な結果」の分析

・「教科領域等」、「評価の観点」、「問題形式」の全ての項目において、県の平均正答率を上回っており、「県の平均との差」は昨年度よりも向上している。

### 「今までの学力変化」の分析

・学力レベルについて、県を上回っている。  
 ・学力の伸び幅について、県と同等である。

### 「学力の伸びの状況」の分析

・上位層、中位層、低位層のいずれの層の児童も学力を伸ばしている。特に、中位層は県の伸びの状況と比べて大きく伸びている。

○ 向上した

△ 変化なし

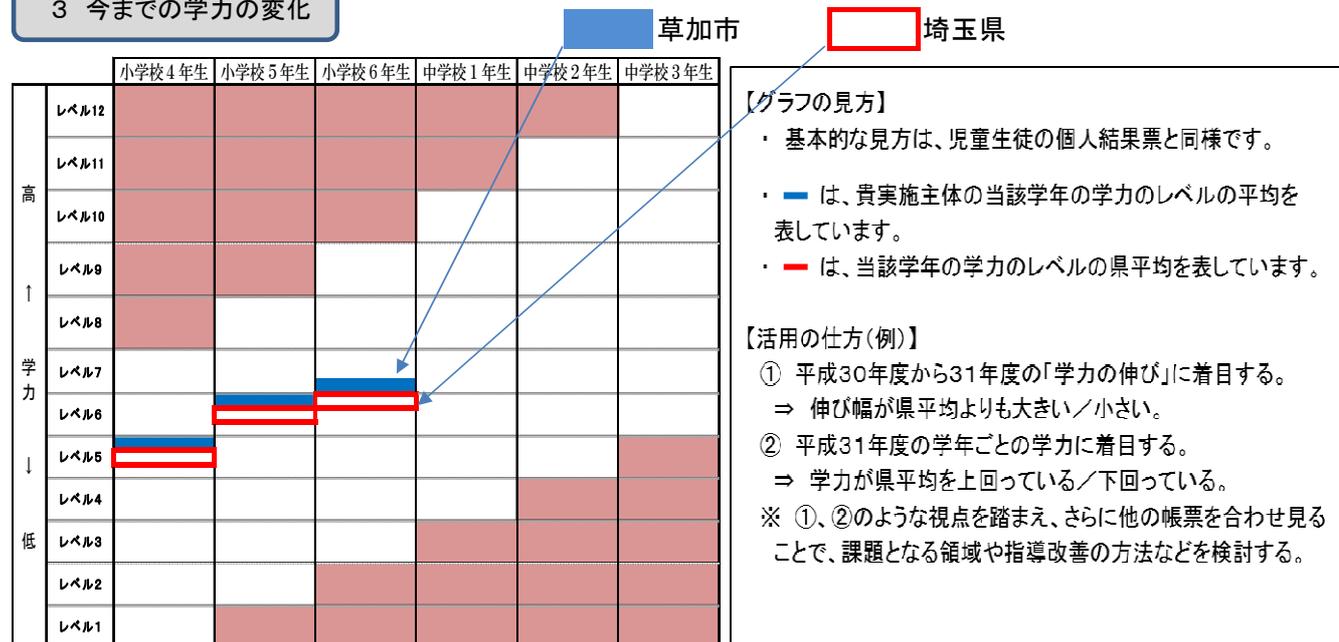
▼ 低下した

## 2 内容別の主な結果

### 同一集団の成績推移

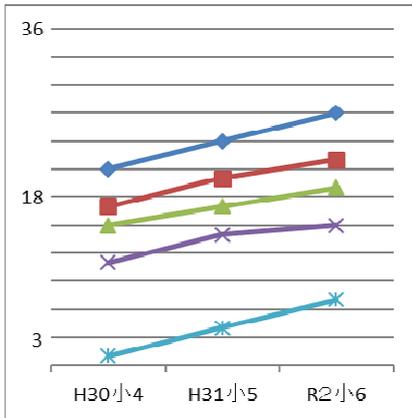
平成30年度 小学校4年生			平成31年度 小学校5年生			令和2年度 小学校6年生			経年変化			
学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			全体正答率			
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	前年度の「県との差」の比較			
5-A	5-B	1	6-A	6-B	1	7-C	6-A	1	1.1	○		
63.8	62.1	1.7	69.5	68.2	1.3	61.4	59.0	2.4	1.1	○		
平均正答率(%)			平均正答率(%)			平均正答率(%)			県との差の比較			
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	経年変化			
教科の領域等	数と計算	70.8	69.6	1.2	75.4	74.0	1.4	63.9	61.7	2.2	0.8	○
	量と測定	55.4	53.7	1.7	64.5	63.4	1.1	55.7	53.2	2.5	1.4	○
	図形	51.7	49.6	2.1	63.5	61.9	1.6	62.8	60.6	2.2	0.6	○
	数量関係	70.1	68.2	1.9	69.0	67.7	1.3	61.4	58.7	2.7	1.4	○
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	数学的な考え方	44.6	42.4	2.2	73.6	71.7	1.9	65.0	62.1	2.9	1.0	○
	数量や図形についての技能	73.2	72.1	1.1	67.3	66.2	1.1	60.4	58.0	2.4	1.3	○
	数量や図形についての知識・理解	66.2	64.5	1.7	69.5	68.3	1.2	60.8	58.7	2.1	0.9	○
問題形式	選択式	68.5	67.3	1.2	67.8	66.4	1.4	63.0	61.2	1.8	0.4	○
	短答式	63.6	61.7	1.9	71.1	69.9	1.2	59.2	56.6	2.6	1.4	○
	記述式	19.7	18.7	1.0	74.2	71.4	2.8	67.5	61.8	5.7	2.9	○

## 3 今までの学力の変化

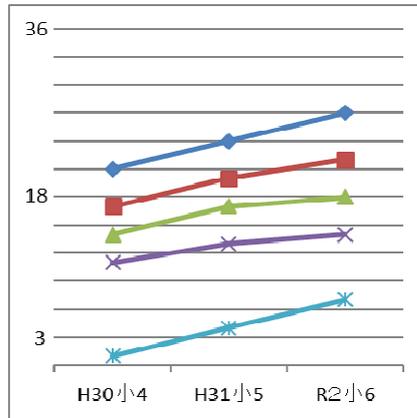


## 4 学力の伸びの状況

### 草加市



### 埼玉県



- ◆ → 最大値 最も学力が高い児童生徒が属する学カレベル
- → 値 学力の い に並べたときに、上から数えて に当たる児童生徒が属する学カレベル
- ▲ → 中央値 学力の い に並べたときに、上から数えて に当たる児童生徒が属する学カレベル
- × → 値 学力の い に並べたときに、上から数えて に当たる児童生徒が属する学カレベル
- 最小値 最も学力が低い児童生徒が属する学カレベル

### ・指導が必要な項目

【数量や図形についての技能】 選択式 平均正答率 草加市 15.2 埼玉県 13.1 差 2.1 無解答率 1.7

問題の概要 合同な三角形をかくのに、どの構成要素が必要か選ぶ

出題の趣旨 合同な三角形のかき方を理解している

【数量や図形についての知識・理解】 選択式 平均正答率 草加市 21.1 埼玉県 22.6 差 1.5 無解答率 0.6

問題の概要 体積が何倍であるかを選ぶ

出題の趣旨 体積の単位について理解している

### 「数量や図形についての技能」に関する指導について

#### 分析

- ・ 合同な三角形をかくのに、どの構成要素が必要か選ぶことについて、平均正答率が15.2%と低かった。

#### 指導のポイント

- ・ 合同な三角形のかき方を考える学習では、三角形の構成要素に着目させ、すべての辺の長さや角の大きさを使わなくても三角形の形や大きさが決まることを実感できるよう、試行錯誤を繰り返す中で発見させることが大切である。

### 「数量や図形についての知識・理解」に関する指導について

#### 分析

- ・ 体積が何倍であるかを選ぶことについて、平均正答率が21.1%と低かった。

#### 指導のポイント

- ・ 体積を表す単位「立方メートル」や  $1\text{m}^3=1000000\text{cm}^3$  の関係について理解する学習では、 $1\text{m}^3$ の立方体の模型の中に入ったり、 $1\text{cm}^3$ の立方体の積み木を並べたりする活動やデジタル教科書等の効果的な活用を通して、量感を伴った理解ができるよう指導を工夫する。

## 令和2年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

### 1 結果概況

#### 「内容別の主な結果」の分析

- ・「全体正答率」の経年変化において、前年度との「県との差」が0.6向上している。
- ・「教科の領域等」の「数と計算」「数量関係」、「評価の観点」の「数学的な考え方」「数量や図形についての技能」、「問題形式」の「短答式」「記述式」において、県の平均正答率を下回っている。

#### 「今までの学力変化」の分析

- ・学力レベルは毎年伸びており、学力レベルの伸び幅は県と同等である。

#### 「学力の伸びの状況」の分析

- ・上位層、中位層、低位層のいずれの層の生徒も学力を伸ばし、特に中央値の生徒の学力の伸びが見られる。

### 2 内容別の主な結果

- 向上した
- ▷ 変化なし
- ▼ 低下した

## 同一集団 の 成績推移

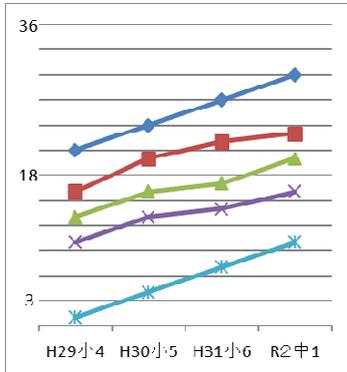
		平成30年度 小学校5年生			平成31年度 小学校6年生			令和2年度 中学校1年生			経年変化	
		学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			全体正答率	
		草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	前年度の「県との差」の比較	
		6-C	6-C	0	6-A	6-A	0	7-B	7-B	0	0.6	○
		56.3	56.8	-0.5	60.7	61.5	-0.8	60.0	60.2	-0.2	0.6	○
		平均正答率(%)			平均正答率(%)			平均正答率(%)			経年変化	
		草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	県との差の比較	
教科の領域等 (小学校)	数と計算	61.1	61.5	-0.4	66.8	67.7	-0.9	68.7	69.9	-1.2	-0.3	▼
	量と測定	51.4	51.6	-0.2	54.1	55.3	-1.2	47.3	46.8	0.5	1.7	○
	図形	65.5	67.5	-2.0	56.6	56.9	-0.3	60.8	59.8	1.0	1.3	○
	数量関係	45.0	44.8	0.2	60.7	62.0	-1.3	56.7	57.4	-0.7	0.6	○
評価の観点 (小学校)	算数への関心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	数学的な考え方	41.2	41.9	-0.7	49.8	50.2	-0.4	42.0	44.0	-2.0	-1.6	▼
	数量や図形についての技能	59.1	59.0	0.1	63.0	64.0	-1.0	64.1	64.4	-0.3	0.7	○
	数量や図形についての知識・理解	60.5	61.7	-1.2	63.4	64.5	-1.1	60.7	60.3	0.4	1.5	○
問題形式	選択式	61.6	62.5	-0.9	58.7	59.5	-0.8	58.6	58.2	0.4	1.2	○
	短答式	52.7	53.1	-0.4	64.6	65.7	-1.1	62.1	62.9	-0.8	0.3	○
	記述式	51.7	50.1	1.6	38.6	38.4	0.2	50.8	52.1	-1.3	-1.5	▼

### 3 今までの学力の変化

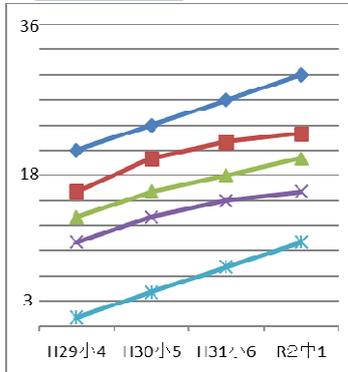


#### 4 学力の伸びの状況

##### 草加市



##### 埼玉県



- ◆ → 最大値 最も学力が高い児童生徒が属する学力レベル
- → 値 学力の1に並べたときに、上から数えて1に当たる児童生徒が属する学力レベル
- ▲ → 中央値 学力の1に並べたときに、上から数えて2に当たる児童生徒が属する学力レベル
- × → 値 学力の1に並べたときに、上から数えて3に当たる児童生徒が属する学力レベル
- 最小値 最も学力が低い児童生徒が属する学力レベル

#### ・指導が必要な項目

【数学的な考え方】 短答式 平均正答率 草加市 35.8 埼玉県 37.9 差 -2.1 無解答率 12.0

問題の概要 4回目までのテストの平均点と5回目のテストの得点をもとに、5回のテストの平均点を求める

出題の趣旨 4回目までの平均点の求める過程を振り返り、5回目の得点をあわせて平均を求めることができる

【数量や図形についての技能】 選択式 平均正答率 草加市 62.6 埼玉県 65.5 差 -2.9 無解答率 0.6

問題の概要 場合の数として適切なものを選ぶ

出題の趣旨 起こり得る場合を順序よく整理して調べることができる

#### 「数学的な考え方」に関する指導について

##### 分析

- ・ 4回目までのテストの平均点と5回目のテストの得点をもとに、5回のテストの平均点を求めることについて、県の平均正答率よりやや低く、無解答率が高い。

##### 指導のポイント

- ・ 平均値についての意味を理解し、活用することかできるよう、平均値は、データの個々の値を合計し、データの個数で割った値であるという過程を振り返る場面を設定することで、学びをさらに深められるようにする。

#### 「数量や図形についての技能」に関する指導について

##### 分析

- ・ 場合の数として適切なものを選ぶことについて、県の平均正答率よりやや低い。

##### 指導のポイント

- ・ 起こり得る場合を順序よく整理して調べることができるように、規則に従って正しく並べたり、整理して見やすくしたりして、誤りなくすべての場合を明らかにする活動を設定する。その際、図や表を適切に用いて、落ちや重なりなく調べる方法を考察する活動を充実させる。

## 令和2年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

### 1 結果概況

#### 「内容別の主な結果」の分析

- ・「全体正答率」の経年変化において、前年度との「県との差」が0.2低下している。
- ・「教科の領域等」、「評価の観点」、「問題形式」の全てにおいて、県の平均正答率を下回っている。

#### 「今までの学力変化」の分析

- ・学力レベルは毎年伸びており、学力レベルの伸び幅は県と同等である。

#### 「学力の伸びの状況」の分析

- ・上位層、中位層、低位層のいずれの層の生徒も学力を伸ばしているが、中央値の生徒の学力の伸びが、県の中央値の生徒の学力伸びの状況と比べ、課題が見られる。

### 2 内容別の主な結果

○ 向上した

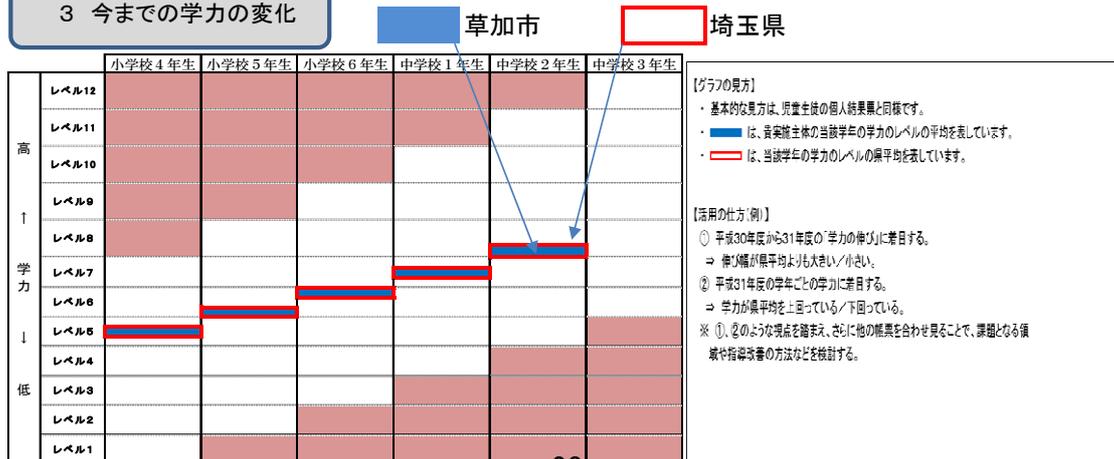
▷ 変化なし

▼ 低下した

## 同一集団 の 成績推移

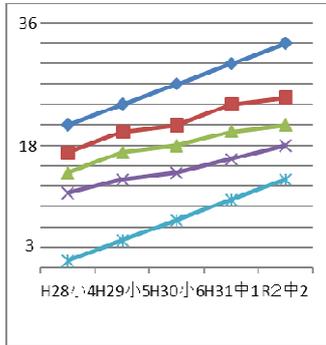
		平成30年度 小学校6年生			平成31年度 中学校1年生			令和2年度 中学校2年生			経年変化	
		草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	前年度の「県との差」の比較	
	学力レベル・全体正答率	6-A	6-A	0	7-B	7-B	0	8-C	8-C	0	-0.2	▼
		55.4	55.2	0.2	58.8	59.8	-1.0	57.4	58.6	-1.2		
	平均正答率(%)	平均正答率(%)			平均正答率(%)			平均正答率(%)			経年変化	
		草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	県との差の比較	
教科の領域等 (小学校)	数と計算	62.1	61.2	0.9	58.5	59.7	-1.2				-	-
	量と測定	45.5	46.0	-0.5	50.2	51.4	-1.2				-	-
	図形	66.9	66.5	0.4	64.1	64.2	-0.1				-	-
	数量関係	43.5	43.6	-0.1	61.8	63.3	-1.5				-	-
評価の観点 (小学校)	算数への関心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	数学的な考え方	43.3	42.9	0.4	42.3	43.5	-1.2				-	-
	数量や図形についての技能	56.8	57.0	-0.2	59.4	60.4	-1.0				-	-
	数量や図形についての知識・理解	58.7	58.0	0.7	66.1	66.9	-0.8				-	-
教科の領域等 (中学校)	数と式							56.4	58.7	-2.3	-	-
	図形							58.3	58.8	-0.5	-	-
	関数							61.0	61.8	-0.8	-	-
	資料の活用							54.4	54.6	-0.2	-	-
評価の観点 (中学校)	数学への関心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	数学的な見方や考え方							42.9	44.1	-1.2	-	-
	数学的な技能							57.1	58.3	-1.2	-	-
	数量や図形などについての知識・理解							63.2	64.5	-1.3	-	-
問題形式	選択式	50.8	50.6	0.2	61.4	62.3	-0.9	63.2	64.2	-1.0	-0.1	▼
	短答式	61.2	60.9	0.3	57.6	58.6	-1.0	52.3	53.8	-1.5	-0.5	▼
	記述式	12.0	12.3	-0.3	39.8	41.6	-1.8	41.5	42.8	-1.3	0.5	○

### 3 今までの学力の変化

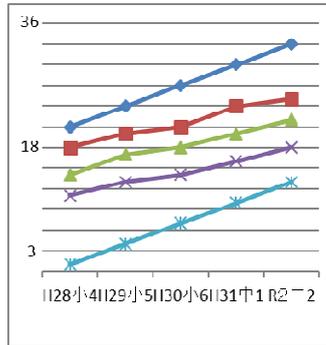


#### 4 学力の伸びの状況

##### 草加市



##### 埼玉県



- ◆ → 最大値 最も学力が高い児童生徒が属する学力レベル
- → 値 学力の い に並べたときに、上から数えて に当たる児童生徒が属する学力レベル
- ▲ → 中央値 学力の い に並べたときに、上から数えて に当たる児童生徒が属する学力レベル
- × → 値 学力の い に並べたときに、上から数えて に当たる児童生徒が属する学力レベル
- 最小値 最も学力が低い児童生徒が属する学力レベル

#### ・ 指導が必要な項目

【数学的な技能】 短答式 平均正答率 草加市 13.3 埼玉県 20.1 差 -6.8 無解答率 31.5

問題の概要 ある数を素因数分解する

出題の趣旨 自然数を素因数分解することができる

【数学的な見方や考え方】 選択式 平均正答率 草加市 37.1 埼玉県 40.1 差 -3.0 無解答率 8.1

問題の概要 みゆきさんとお姉さんが家から図書館まで移動した様子が表されたグラフを読み取り、お姉さんが着いてからみゆきさんが着くまでの時間を求める

出題の趣旨 具体的な事象を表した比例のグラフから必要な情報を読み取り、問題を解決することができる

#### 「数学的な技能」に関する指導について

##### 分析

- ・ ある数を素因数分解することについて、県の平均正答率より低く、無解答率が高い。

##### 指導のポイント

- ・ 自然数を素数の積として表すことについて、分解の順序をいろいろに変えても、整理すると結果は同じ素数の積になることを活動を通して具体的に知ることができるような場面を設定する。

#### 「数学的な見方や考え方」に関する指導について

##### 分析

- ・ みゆきさんとお姉さんが家から図書館まで移動した様子が表されたグラフを読み取り、お姉さんが着いてからみゆきさんが着くまでの時間を求めることについて、県の平均正答率よりやや低い。

##### 指導のポイント

- ・ 表、式、グラフを用いた比例、反比例の学習では、それぞれの表現の特徴を理解できるよう指導するとともに、目的に応じて数学的表現を適切に選択できるように指導する。また、表、式、グラフを関連付けた学習を行い、必要な情報を読み取る活動を設定する。

## 令和2年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

### 1 結果概況

#### 「内容別の主な結果」の分析

- ・「全体正答率」の経年変化において、前年度との「県との差」に変化はなかった。
- ・「教科の領域等」「評価の観点」「問題形式」の全てにおいて、県の平均正答率を下回っているが、「教科の領域等」の「数と式」「図形」、「評価の観点」の「数学的な技能」「数量や図形などについての知識・理解」などについては、前年度との「県との差」と比べ、向上が見られる。

#### 「今までの学力変化」の分析

- ・学力レベルは毎年伸びているが、県の学力レベルの平均を下回っている。

#### 「学力の伸びの状況」の分析

- ・上位層、中位層、低位層のいずれの層の生徒も学力を伸ばしているが、25%値の生徒の学力の伸びが、県の25%値の生徒の学力伸びの状況と比べ、課題が見られる。

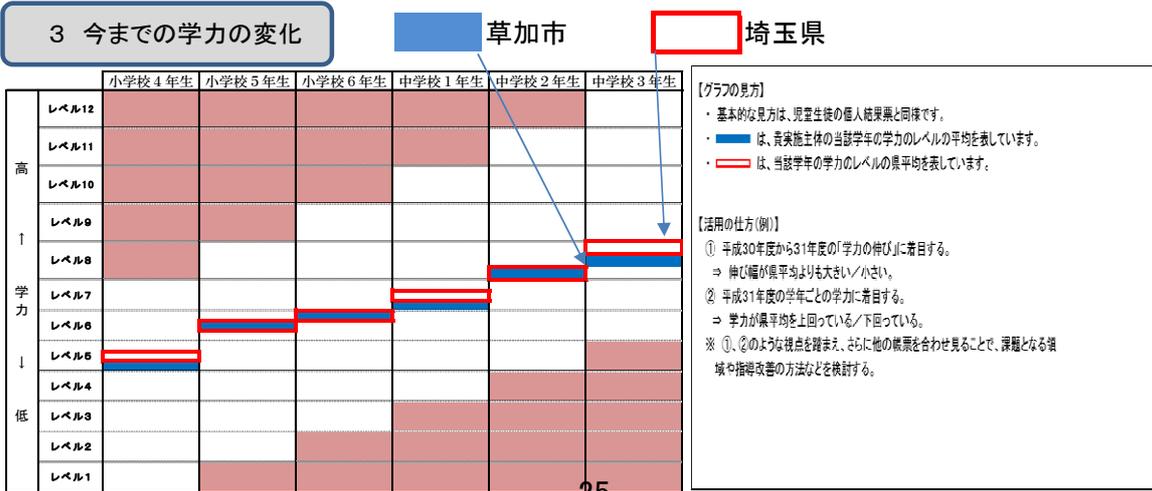
### 2 内容別の主な結果

- 向上した
- ▷ 変化なし
- ▼ 低下した

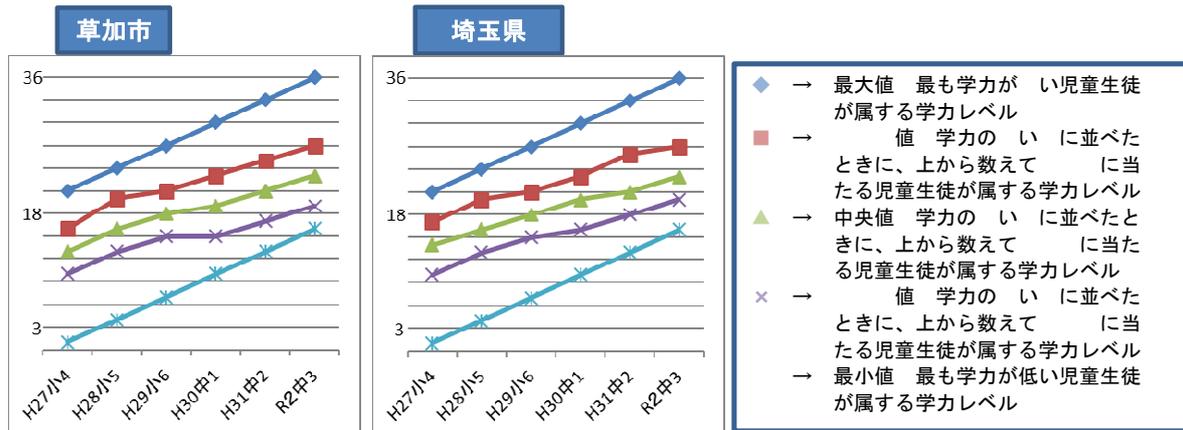
## 同一集団 の 成績推移

平成30年度 中学校1年生			平成31年度 中学校2年生			令和2年度 中学校3年生			経年変化			
学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			全体正答率			
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	前年度の「県との差」の比較			
7-C	7-B	-1	8-C	8-C	0	8-B	8-A	-1				
56.1	58.1	-2.0	58	59.8	-1.8	55.9	57.7	-1.8	0.0	△		
平均正答率(%)			平均正答率(%)			平均正答率(%)			経年変化			
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	県との差の比較			
教科の領域等 (小学校)	数と計算	52.0	54.5	-2.5				-	-	-		
	量と測定	63.8	65.9	-2.1				-	-	-		
	図形	54.0	54.4	-0.4				-	-	-		
	数量関係	57.0	59.6	-2.6				-	-	-		
評価の観点 (小学校)	算数への関心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	数学的な考え方	36.1	37.8	-1.7				-	-	-		
	数量や図形についての技能	61.5	64.4	-2.9				-	-	-		
	数量や図形についての知識・理解	62.0	62.9	-0.9				-	-	-		
教科の領域等 (中学校)	数と式			-	57.0	59.1	-2.1	60.4	62.2	-1.8	0.3	○
	図形			-	58.8	60.8	-2.0	52.4	53.3	-0.9	1.1	○
	関数			-	59.9	61.3	-1.4	49.4	51.4	-2.0	-0.6	▼
	資料の活用			-	56.1	57.8	-1.7	58.3	61.0	-2.7	-1.0	▼
評価の観点 (中学校)	数学への関心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	数学的な見方や考え方			-	49.5	51.7	-2.2	43.1	45.8	-2.7	-0.5	▼
	数学的な技能			-	58.0	59.9	-1.9	60.9	62.6	-1.7	0.2	○
	数量や図形などについての知識・理解			-	64.8	66.1	-1.3	60.6	61.3	-0.7	0.6	○
問題形式	選択式	65.3	66.7	-1.4	59.9	61.8	-1.9	56.8	58.9	-2.1	-0.2	▼
	短答式	51.0	53.5	-2.5	57.7	59.5	-1.8	57.0	58.5	-1.5	0.3	○
	記述式	28.0	28.7	-0.7	28.1	30.2	-2.1	24.5	25.2	-0.7	1.4	○

### 3 今までの学力の変化



#### 4 学力の伸びの状況



#### ・指導が必要な項目

【数学的な見方や考え方】 短答式 平均正答率 草加市 29.5 埼玉県 37.9 差 -8.4 無解答率 10.0

問題の概要 投げた硬貨の枚数をもとめる

出題の趣旨 確率の求め方を振り返り、確率から試行回数の求め方を考えることができる

【数学的な技能】 選択式 平均正答率 草加市 50.8 埼玉県 54.5 差 -3.7 無解答率 1.2

問題の概要 立体の表面積を文字式で表したものを選ぶ

出題の趣旨 表面積を文字式で表すことができる

#### 「数量や図形などについての知識・理解」に関する指導について

##### 分析

- ・ 投げた硬貨の枚数を求めることについて、県の平均正答率より低く、無回答率が高い。

##### 指導のポイント

- ・ 確率の求め方を振り返る学習を設定したり、数学的な表現を用いて、筋道立てて伝え合う活動を設定する。数学的な表現を用いることに関して、数量や図形などに関する事実や処理の仕方、思考の過程や判断の根拠などを数学的に表現したり、表現されたものを解釈したりすることの適切さを高めるために、言葉や数、式、図、表、グラフなどを相互に関連付けて適切に用いることを指導する。

#### 「数学的な技能」に関する指導について

##### 分析

- ・ 立体の表面積を文字式で表したものを選ぶことについて、県の平均正答率より低い。

##### 指導のポイント

- ・ 文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解させる指導の充実を図る。そのためには、文字を用いた式を使って、ある命題が成り立つことを説明する場面で、文字を用いて表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったり、計算したりする学習を総合的に行う。

## 令和2年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

### 1 結果概況

#### 「内容別の主な結果」の分析

- ・「教科の領域等」の「書くこと」においては、県の平均正答率を2.3ポイント上回り、一定の成果が見られる。
- ・「評価の観点」の「外国語理解の能力」において、県の平均正答率との差は0.3ポイントであり、課題となっている。
- ・「問題形式」の「記述式」においても、県の平均正答率より、2.7ポイント上回り、一定の成果が見られる。

- 向上した
- ▷ 変化なし
- ▼ 低下した

### 2 内容別の主な結果

#### 過去の同学年 との成績比較

		平成30年度			平成31年度			令和2年度			経年変化	
		学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			全体正答率	
		草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	全年度の「県との差」の比較	
		8-A	8-A	0	9-C	9-C	0	9-B	9-B	0	1.4	○
		65.4	65.4	0.0	55.8	56.3	-0.5	58.2	57.3	0.9	1.4	○
		平均正答率(%)			平均正答率(%)			平均正答率(%)			県との差の比較	
		草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	経年変化	
教科の領域等	聞くこと	73.3	72.9	0.4	61.4	62.1	-0.7	64.2	63.8	0.4	1.1	○
	話すこと	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	読むこと	61.9	62.3	-0.4	53.8	54.6	-0.8	58.6	58.0	0.6	1.4	○
	書くこと	63.3	61.8	1.5	52.6	51.8	0.8	48.4	46.1	2.3	1.5	○
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	外国語表現の能力	64.9	65.2	-0.3	52.5	54.8	-2.3	64.2	61.8	2.4	4.7	○
	外国語理解の能力	69.3	69.2	0.1	54.4	55.1	-0.7	60.6	60.3	0.3	1.0	○
	言語や文化についての知識・理解	59.5	59.5	0.0	58.1	58.3	-0.2	55.0	53.6	1.4	1.6	○
問題形式	選択式	65.4	65.4	0.0	55.9	56.4	-0.5	60.4	59.5	0.9	1.4	○
	短答式	-	-	-	-	-	-	20.3	20.9	-0.6	-	-
	記述式	64.9	65.2	-0.3	52.5	54.8	-2.3	61.4	58.6	2.7	5.0	○

#### ・指導が必要な項目

【外国語理解の能力】 選択式 平均正答率 草加市 67.6 埼玉県 68.8 差 -1.2

問題の概要（読むこと）英語の文章を読んで、数についてたずねる質問に対する答えを選ぶ

出題の趣旨（読むこと）案内文と予定表を読んで、重要な内容やことがらを理解できる

【言語や文化についての知識・理解】 選択式 平均正答率 草加市 25.0 埼玉県 27.3 差 -2.3

問題の概要（読むこと）登場人物についてたずねる質問に対する答えを選ぶ

出題の趣旨（読むこと）会話文の内容に合う表現を選択することができる

【言語や文化についての知識・理解】 短答式 平均正答率 草加市 15.7 埼玉県 16.9 差 -1.2 無回答14

問題の概要（書くこと）与えられた情報に基づいて、ある男性を説明する英文を書く

出題の趣旨（書くこと）与えられた情報に基づいて、人物の情報を正確に書くことができる

## 「外国語理解の能力」に関する指導について

### 分析

- ・「理解の能力」について、全体では0.3%上回っているが、「案内文と予定表を読んで、重要な内容やことがらを理解できる」については、正答率が67.6%で、県平均より1.2%下回った。出題は、「案内文と予定表を読んで重要な内容やことがらを理解できる」ことであり、目的に対してのことがらを表と照らし合わせて、正確に理解できるかを問われている。
- 設問の傾向として、目的(美術館に行く)・場面(来週の予定)・状況(中学生・博物館の料金・時間等)を設定し、必然性のある言語活動が理解できているかが問われている。

### 指導のポイント

- ・言語活動を行う際、必然性のある目的・場面・状況を設定し、自分の意思を決定し伝えたり、正しく聞き取りメモを取ったりする。また、空港の場面やお店でのやり取りの場面では、予定や表を正しく読み取り理解する場面を意図的に授業で扱っていく。

### 【授業での取組方法】

- 例1 ハンバーガーショップでのやり取りでは、サイズによって金額が異なることを提示し、自分の考えを決定する。
- 例2 空港や電車等の予定表を用いて、自身の予定と比べ、情報を整理し、自分の考えを決めたり、友達と予定を決定したりする。
- 例3 スモールトークの「話すこと(やりとり)」の言語活動の場面では、必ず目的・場面・状況を設定し、その場にあった発話を意識し、相手の発話を理解し、正しく返答することを意図的に指導する。
- 例4 未来の予定を計画する際には、「I will go to Okinawa this summer.」でとどまらず、そのために、いつ、どのように、何が目的でいくのかなど、既習の言語を用いて、課題設定に対し、深める活動を意図的に設定する。

## 「言語や文化についての知識・理解」に関する指導について

### 分析

- ・「言語や文化についての知識・理解」に関する全体の正答率は、草加市55.0%、埼玉県53.6%であるが、「言語や文化についての知識・理解」の「書くこと」「読むこと」の問題において、県平均正答率より下回る問題もあった。特に、「書くこと」については、無回答率が21.9%と、どの問題よりも高かった。
- その理由としては、語順ミス、単語の選択ミス、スペルミス、全く英文が浮かばない等の誤答が予想される。
- 課題設定として、目的(新しいALTに先生を紹介する)場面(手分けをして)状況(英語で書いて紹介する)と、必然性のある状況が設定されている。

### 指導のポイント

- ・令和元年度より中学校全学年に配付の草加市副教材である冊子「センテンスマラソン(英文を1,000文書く)」を活用し、「書くこと」の活動を取り入れる。
- ・言語活動を行う際、設定された課題に対し、情報を収集・整理し、まとまりのある文を書く。その文について、友達や先生からアドバイスをもらい、振り返りを行い、再度取り組む。

### 授業での取組方法

- ① 「話すこと(やりとり)」の言語活動の後に、自分が発話した内容の英文を「書く」時間を短時間でも設ける。
- ② 単元の終末には、まとまりのある文章を書かせる。(トピック: 自分の夢、家族の紹介、日本文化の紹介等)「話して書く」「読んで書く」「聞いて書く」等の領域を統合した指導が必要である。また、英文を読み合ったり、協働して紹介文を作成するなど、よりよく読み手に伝わるように互いに支え合い書く指導も効果的である。

## 令和2年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

### 1 結果概況

#### 「内容別の主な結果」の分析

- ・教科の領域「読むこと」、評価の観点「外国語表現の能力」において、学力の伸びがみられた。
- ・「書くこと」の領域においては、県との差の比較が2.1ポイント低下し、課題が見られる。
- ・各項目の数値を県の平均と比較して、下回っているものが多く、4技能5領域を統合し、横断的に指導していく必要がある。

#### 「今までの学力変化」の分析

- ・県の伸びと同等である。

#### 「学力の伸びの状況」の分析

- ・県の伸びとほぼ同等である。
- ・学力下位層の伸びが県の生徒の伸びに比べ課題がある。

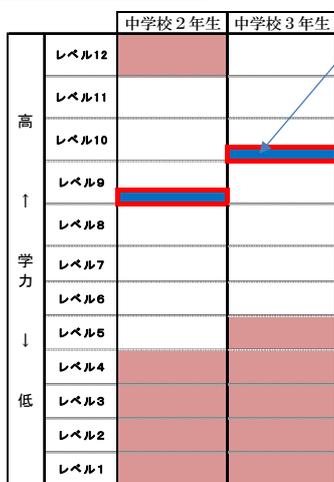
- 向上した
- ▷ 変化なし
- ▼ 低下した

### 2 内容別の主な結果

## 同一集団の成績推移

平成31年度 中学校2年生			令和2年度 中学校3年生			経年変化			
学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			全体正答率			
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	前年度の「県との差」の比較			
9-C	9-C	0	10-C	10-C	0	-0.3	▼		
55.8	56.3	-0.5	54.9	55.7	-0.8				
平均正答率(%)			平均正答率(%)			県との差の比較			
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	経年変化			
聞くこと	61.4	62.1	-0.7	60.4	61.3	-0.9	-0.2	▼	
話すこと	-	-	-	-	-	-	-	-	
読むこと	53.8	54.6	-0.8	56.6	57.2	-0.6	0.2	○	
書くこと	52.6	51.8	0.8	42.6	43.9	-1.3	-2.1	▼	
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-	-	
	外国語表現の能力	52.5	54.8	-2.3	20.4	22.1	-1.7	0.6	○
	外国語理解の能力	54.4	55.1	-0.7	55.5	56.8	-1.3	-0.6	▼
	言語や文化についての知識・理解	58.1	58.3	-0.2	56.3	56.6	-0.3	-0.1	▼
問題形式	選択式	55.9	56.4	-0.5	58.2	59.1	-0.9	-0.4	▼
	短答式	-	-	-	20.9	21.6	-0.7	-	-
	記述式	52.5	54.8	-2.3	37.6	37.6	0.0	2.3	○

### 3 今までの学力の変化



■ 草加市 □ 埼玉県

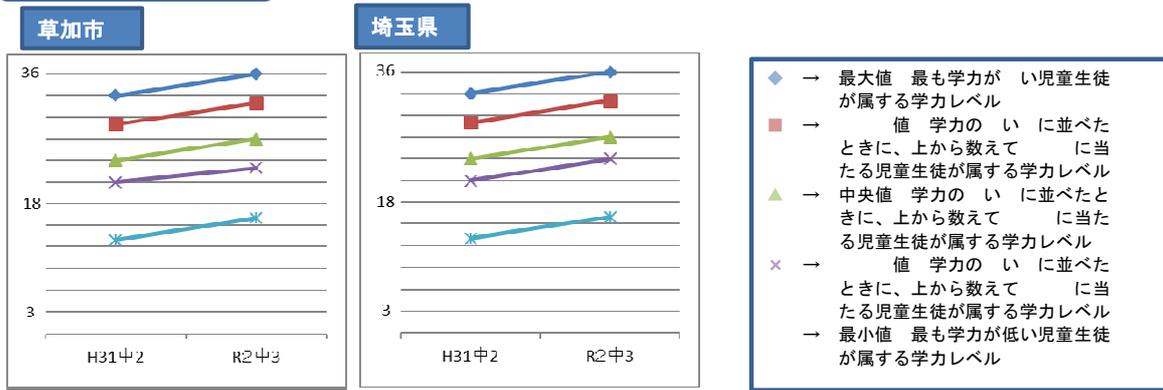
#### 【グラフの見方】

- ・ 基本的な見方は、児童生徒の個人結果票と同様です。
- ・ ■ は、貴実施主体の当該学年の学力のレベルの平均を表しています。
- ・ □ は、当該学年の学力のレベルの県平均を表しています。

#### 【活用の仕方(例)】

- ① 平成31年度から令和2年度の「学力の伸び」に着目する。  
⇒ 伸び幅が県平均よりも大きい／小さい。
  - ② 令和2年度の学年ごとの学力に着目する。  
⇒ 学力が県平均を上回っている／下回っている。
- ※ ①、②のような視点を踏まえ、さらに他の帳票を合わせ見ることで、課題となる領域や指導改善の方法などを検討する。

#### 4 学力の伸びの状況



・指導が必要な項目

【外国語表現の能力】記述式 平均正答率 草加市 20.4 埼玉県 22.1 差 -1.7 無解答率 42.0(草加市)38.8(埼玉県)

問題の概要(書くこと) 与えられたテーマに基づき、英語で適切な事例を書く

出題の趣旨(書くこと) 文章の構造を踏まえ、テーマに対する事例を書くことができる

【外国語理解の能力】選択式 平均正答率 草加市 55.5 埼玉県 56.8 差 -1.2

問題の概要(読むこと) ・日程について尋ねる質問の答えを選ぶ ・図表と照らし合わせて数を選ぶ ・予定について選ぶ

出題の趣旨(読むこと) 案内文、図表を含むポスター、Eメール、物語文、を読んで、重要な内容やことがらを理解できる

#### 「外国語表現の能力」に関する指導について

##### 分析

・「外国語表現の能力(書くこと)」について、県の平均正答率1.7ポイント下回り、無回答率が42.0%とどの問題よりも高かった。問題の内容は、生徒の家庭でのインターネットの使用について、事例を書くといったものであった。

外国語表現の能力(書くこと)	草加市	埼玉県	県との差	無回答(草加市)
文章の構造を踏まえ、テーマに対する事例をかくことができる。	20.4	22.1	1.7 △	42

##### 指導のポイント

- ・言語活動を通して、自分が発話した内容を整理し、自分の考えを「書く」時間の設定をすること。
- ・令和元年度より、中学校全学年に草加市副教材である「センテンスマラソン(英文を1,000文書く)」という冊子を配布している。「書くこと」の活動の充実を図ること。

##### 【使い方】

- レベル1 英文を書き写す。
- レベル2 話した英語を書く。
- レベル3 自分の考え、思いを英語で表現して書く。

##### 【授業での取組方法】

- ① 「話すこと(やりとり)」の言語活動の後に、自分が発話した内容の英文を「書く」時間を短時間でも設ける。
- ② 教科書を読んだ後、その内容に対する自分の意見を書かせる。(ある内容を聞いた後、意見を書かせる。)
- ③ 基本本文を導入後、まとまりのある文章を書かせる。(トピック: 自分の夢、家族の紹介、日本文化の紹介等)  
 「話して書く」「読んで書く」「聞いて書く」等の領域を統合した指導が必要である。また、英文を読み合い、よりよく読み手に伝わるように書く指導も効果的である。

## 「外国語理解の能力」に関する指導について

### 分析

- ・「外国語理解の能力」に関する全体の正答率は、埼玉県 56.8%に対し、草加市 55.5%であり、特に「外国語理解の能力」の「読むこと」の問題において、経年変化では0.2%伸びているものの各設問の平均正答率については、県平均から下回っている結果であった。

### 指導のポイント

- ・ 黙読の指導の中で、文章全体を通してどのように物語や論述が進んでいるのか等の文章の構成を意識させること。
- ・ 広告やパンフレット等から、「自分が必要とする情報」を読み取るために、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら、理解させること。
- ・ 物語文等まとまりのある文章を最初から最後まで通して読んだうえで、情報を整理したり、書き手が伝えたいことのおおまかな内容「概要」を捉えさせたりすること。
- ・ 文章と合わせて、「イラストや写真、図表」を参考にし、「要点」を把握する活動を行うこと。

### 指導方法

#### ①【黙読】

まとまりのある文章について、黙読の時間を設ける。その際には、物語の時系列や概要、論述の要点など、どのように話をまとめているかを理解する。

#### ②【物語の概要、論述の要点等のまとめ】

- ・ 概要を捉えたり、あらすじを自分の言葉でまとめたり、まとまりのある文章を読んだ後、主体的に考えたり、判断したりしながら理解する。学習者の習熟度に配慮しながら、重要点については、空欄にするなどして、ワークシートを準備する。
- ・ 映画館の予定表や、電車・バス・空港の時刻表など、自分の予定と照らし合わせて、自分に必要な情報を読み取り、目的に応じて、他者と共有したりして決定する。
- ・ 一語一語、一文一文の意味にとらわれることなく、書き手が述べていることのおおまかな内容を捉えさせる。

#### ③【学習形態の工夫】

- ・ ペアやグループになり、読み取れたことについて、生徒同士が考えを交流する。
- ・ 「社会的な話題に関する説明文」などでは、要点を把握するとともに、その内容に対する賛否や自分の考えをまとめ、ペアやグループで尋ね合ったり伝え合ったりし、さらにそれを簡潔に書いて表現するなどして、発展させる。

令和2年度埼玉県学力・学習状況調査について【児童生徒質問紙調査の結果】

※ 表中の数字は、児童生徒質問紙調査で児童生徒が「できる」「よくできる」「だいたいできる」の合計と回答した割合 成率 上段は草加市、下段は埼玉県の 成率

※ は、 以上

※ 同 団において前年度と比較して 成率が上昇 同 団において前年度と比較して 成率が低下 変化なし

内容	目	対象	小学校 年生			小学校 年生			中学校 年生			中学校 年生			中学校 年生				
			R 小	R1 小	R 小	H30 小	R1 小	R 小	H30 小	R1 小	R 中	H30 小	R1 中	R 中	H30 中	R1 中	R 中		
○けじめのある生活ができる	1	時刻を守る	同一 団の変化																
			①登校時刻	草加市	93.9	92.1	94.8	92.9	95.2	95.1	94.8	95.7	98.3	96.0	98.4	97.9	98.9	97.2	97.1
				前年度比較															
			埼玉県	92.5	91.7	93.6	91.8	94.0	96.1	94.1	94.6	97.6	95.1	98.1	97.5	98.7	97.5	97.2	
			②授業始時刻	草加市	93.4	93.2	94.6	93.8	96.3	95.8	95.2	96.4	98.4	96.8	98.0	98.4	98.6	97.2	97.7
				前年度比較															
埼玉県	92.3	92.9	93.7	92.7	94.4	95.1	94.1	95.2	97.5	96.3	98.2	98.3	98.3	97.5	98.2				
○身の回りの整理整をす	2	そろえ	草加市	83.5	86.0	84.7	85.0	87.0	88.1	88.5	89.9	90.3	88.4	91.1	91.1	91.0	90.1	91.3	
			前年度比較																
			埼玉県	81.9	84.8	84.4	83.7	86.1	87.8	86.9	88.8	90.3	89.4	92.3	92.7	92.5	92.4	93.8	
			④整理整	草加市	76.8	81.6	77.2	82.1	82.0	76.4	82.7	80.6	75.1	81.2	83.5	79.6	83.5	84.7	82.0
				前年度比較															
			埼玉県	79.4	83.7	79.9	82.8	83.3	79.3	83.8	84.2	79.5	84.8	85.4	81.9	86.3	86.1	84.8	
○礼儀正しく人と接することができる	3	進んであいさつや返事をす	⑤あいさつ	草加市	75.8	81.5	75.6	80.5	80.7	75.6	81.9	81.8	81.4	80.3	83.5	83.7	82.5	84.8	83.5
				前年度比較															
			埼玉県	77.0	81.3	76.7	80.4	80.3	76.8	81.1	80.9	82.2	82.8	84.0	84.4	84.0	84.9	85.0	
			⑥返事	草加市	89.0	89.8	88.4	89.3	87.9	86.1	89.8	89.5	88.2	88.8	89.4	88.0	87.9	86.5	86.4
				前年度比較															
			埼玉県	87.3	90.7	88.2	89.0	88.6	85.6	89.4	88.4	87.9	89.7	90.5	89.5	89.4	88.7	88.6	
○つづける	4	ていねいな言葉づかいを身につける	⑦ていねいな言葉づかい	草加市	86.4	89.2	88.5	88.2	89.1	89.8	89.2	90.7	91.7	91.0	93.5	93.3	91.8	90.4	91.7
				前年度比較															
			埼玉県	84.2	87.4	88.5	86.2	86.5	88.3	86.6	88.0	90.3	91.8	93.9	93.2	92.6	90.7	92.8	
			⑧やさしい言葉づかい	草加市	85.9	86.2	85.5	84.8	83.6	84.9	85.0	84.6	88.2	85.3	91.5	88.8	87.5	84.9	87.0
				前年度比較															
			埼玉県	84.7	85.0	86.3	83.5	83.9	84.0	84.4	84.0	88.0	86.6	91.4	90.1	89.7	86.3	88.5	
○約束やきまりを守る	5	学習のきまりを守る	⑨学習準備	草加市	83.8	79.5	87.1	79.0	86.7	88.9	87.4	87.7	92.2	87.6	92.8	91.3	89.9	89.3	92.6
				前年度比較															
			埼玉県	83.3	81.0	87.0	79.2	85.2	87.2	85.7	86.0	92.2	88.1	92.1	92.9	91.3	89.9	93.2	
			⑩話を聞き発表をす	草加市	77.0	83.1	76.0	80.4	75.2	73.9	77.9	75.7	75.2	75.0	75.4	72.4	70.5	68.3	72.0
				前年度比較															
			埼玉県	77.3	81.3	74.8	79.4	75.4	72.4	76.8	74.5	74.9	76.2	76.6	75.0	74.8	71.9	76.2	
○生活のきまりを守る	6	生活のきまりを守る	⑪団の場での態度	草加市	84.2	86.7	83.8	85.0	87.7	85.2	87.3	87.3	92.5	88.4	95.1	94.3	93.5	93.4	94.3
				前年度比較															
			埼玉県	82.4	85.2	83.8	84.5	85.3	83.3	85.4	85.8	93.3	87.8	94.9	94.9	93.9	93.5	95.0	
			⑫掃美化活動	草加市	91.6	91.1	88.0	91.1	91.1	88.7	89.4	89.0	84.0	88.5	85.7	83.6	82.2	83.2	82.3
				前年度比較															
			埼玉県	90.2	91.1	87.1	90.2	89.5	86.1	88.5	87.7	83.3	88.5	86.6	85.1	85.7	85.6	85.3	

## 令和2年度埼玉県学力・学習状況調査について【児童生徒質問紙調査の結果】

(1) 自分には良いところがあると思いますか。

児童生徒質問紙調査で児童生徒が「思う」「思う」「どちらかといえば、思う」の合計と回答した割合

対象	小学校 年生			小学校 年生			中学校 年生			中学校 年生			中学校 年生		
	R 小	R1 小	R 小	H30 小	R1 小	R 小	H30 小	R1 小	R 中	H30 小	R1 中	R 中	H30 中	R1 中	R 中
草加市	76.8	81.2	74.0	79.3	78.4	75.7	75.5	72.8	72.9	72.1	73.5	65.8	76.3	75.3	70.0
前年度比較			↓		↓	↓		↓	↑		↑	↓		↓	↓
埼玉県	77.1	80.2	74.5	77.5	79.3	73.4	75.2	73.3	74.6	72.8	74.4	68.6	78.5	77.0	74.5

(2) 学校の友は自分のよいところを認めてくれましたか

児童生徒質問紙調査で児童生徒が「認めてくれた」「認めてくれた」「どちらかといえば、認めてくれた」の合計と回答した割合

対象	小学校 年生			小学校 年生			中学校 年生			中学校 年生			中学校 年生		
	R 小	R1 小	R 小	H30 小	R1 小	R 小	H30 小	R1 小	R 中	H30 小	R1 中	R 中	H30 中	R1 中	R 中
草加市	87.4	86.4	88.6	86.3	89.7	90.3	87.7	89.4	93.2	88.2	91.9	92.0	92.7	90.4	91.8
前年度比較			↑		↑	↑		↑	↑		↑	↑		↓	↑
埼玉県	86.7	86.0	88.6	84.8	88.4	90.3	87.1	89.0	92.3	89.1	93.3	92.7	93.3	91.7	92.9

※  同 団において前年度と比較して上昇

 同 団において前年度と比較して低下

 変化なし

※  は、県平均以上